

# 横浜市廃棄物処理施設生活環境影響調査専門委員会

## 会 議 次 第

日 時 令和7年2月27日(木) 午前10時から

場 所 横浜市役所 18階共用会議室(なみき18・19)

### 1 議題

「アイテックグリーンパーク横浜2 産業廃棄物処理施設設置許可申請」に伴う生活環境の保全について

### 2 事務連絡

#### 配付資料

【資料1】産業廃棄物処理施設設置許可申請書(3冊)

【資料2】施設設置に係る手続きの流れ

【資料3】「アイテックグリーンパーク横浜2 施設計画・生活環境影響調査概要」説明資料

【資料4】「横浜市廃棄物処理施設生活環境影響調査専門委員会運営要綱」

## 施設設置に係る手続きの流れ

## 1 これまでの手続き及び今後の予定

| 産業廃棄物処理施設設置許可申請 |  |
|-----------------|--|
| 令和6年11月         | 11月6日 産業廃棄物処理施設設置許可申請書 受付  |
| 令和6年12月         | 産業廃棄物処理施設設置許可申請書の縦覧について<br>12月13日 横浜市報にて告示、同日、計2か所にて縦覧開始<br>(縦覧場所)<br>・資源循環局事業系廃棄物対策課<br>・金沢区役所区政推進課 |
| 令和7年1月          | 1月13日 縦覧期間終了<br>1月27日 当該産業廃棄物処理施設の設置に関し、<br>利害関係を有する者からの意見書の提出期間終了                                   |
| 令和7年2月          | 2月27日 横浜市廃棄物処理施設生活環境影響調査専門委員会開催  |
| 令和7年3月          | 産業廃棄物処理施設設置許可(予定)  |

## 2 その他関係部署における主な手続きについて

- ・建築基準法第51条ただし書き(都市計画審議会)  
令和6年8月に建築基準法第51条ただし書き許可取得

## 3 縦覧件数及び意見書について

| 縦覧場所       | 縦覧件数 | 合計 |
|------------|------|----|
| 事業系廃棄物対策課  | 0    | 0  |
| 金沢区役所区政推進課 | 0    |    |

| 意見書件数(のべ数) | 意見数(のべ数) |
|------------|----------|
| 0          | 0        |

※廃掃法では、一部の施設(焼却施設、PCBの分解施設など)では、上記のように申請書の縦覧、意見書の受付(利害関係者が意見書を提出することができる)、有識者からの意見を聞くことが必要となります。

# 横浜市廃棄物処理施設生活環境影響調査専門委員会

## 産業廃棄物焼却処理施設



### 施設計画・生活環境影響調査概要

| No. | 項目                 | スライド頁 | 説明    |
|-----|--------------------|-------|-------|
| 1   | 事業者・施設計画概要         | 1～13  | アイテック |
| 2   | 協力業者、廃棄物焼却発電設備計画   | 14～21 |       |
| 3   | 環境保全対策・維持管理値・情報の公表 | 22～27 |       |
| 4   | 事前ご質問事項回答          | 28～45 |       |
| 5   | 生活環境影響調査概要         | 46～65 | オオスミ  |
| 6   | 事前質問Q&A            | 66～69 |       |
| 7   | 騒音予測式(参考)          | 71～75 |       |

令和7年2月27日  
アイテック株式会社

# 事業者概要

| 項目    | 概要                               |
|-------|----------------------------------|
| 事業者名  | アイテック株式会社                        |
| 本社所在地 | 大阪市北区梅田1-13-1<br>大阪梅田ツインタワーズ・サウス |
| 役員    | 代表取締役会長 前田幸治<br>代表取締役社長 佐藤英司     |
| 創業    | 昭和56年9月1日                        |
| 資本金   | 9,000万円                          |
| 売上高   | 229億円(令和5年度)                     |
| 従業員   | 2,500名                           |
| 事業内容  | 上下水道施設、焼却発電施設等の運転維持管理            |
| 本支店   | 本社、東京本店、横浜・名古屋・東北・熊本・その他21支店     |



本社 〒530-0001 大阪市北区梅田一丁目13番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス  
TEL.06-6346-0036(代表) FAX.06-6346-0038 head-office@aitec-j.com

# 事業実績

東京都、愛知県、大阪府、福岡県などの  
全国に及ぶ官公庁、民間の大型プラントの  
技術分野を担い培った技術力により  
現在では全国210か所の大型プラント  
運転維持管理をおこなっております。

- 自社産業廃棄物焼却発電設備
- ・アイテックグリーンパーク横浜(H31/4許可)  
94.8t/日、750kW
  - ・アイテックグリーンパーク横浜2(計画中)  
72t/日、1,300kW

全国運転維持管理施設数**210**

| 上水道施設            | 下水道施設            |
|------------------|------------------|
| 全国 <b>60</b> カ所  | 全国 <b>110</b> カ所 |
| リサイクル・<br>焼却発電施設 | 高速道路管理           |
| 全国 <b>30</b> カ所  | 全国 <b>10</b> カ所  |

# 施設計画概要

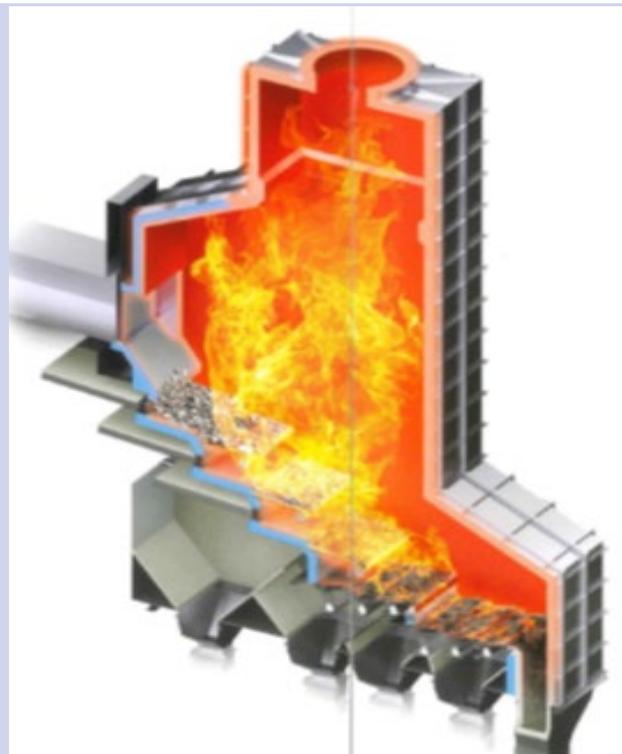
| 項目                     | 概要   |
|------------------------|--|
| 設置場所                   | 横浜市金沢区福浦2丁目15番16、15番17（金沢産業団地）   |
| 敷地面積                   | 2,639.90m <sup>2</sup>   |
| 用途地域                   | 工業地域   |
| 処理する産業廃棄物の種類<br>(16種類) | <p>【産業廃棄物】<br/>燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、<b>廃プラスチック類</b>、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類</p> <p>【特別管理産業廃棄物】<br/><b>感染性産業廃棄物</b></p> |
| 焼却能力                   | 72t/日(3t/h)  |
| 焼却方式                   | ストーカ式  |
| 発電出力                   | 1,300kW(常用※、最大1,450kW)、蒸気タービン式   |
| 運転時間                   | 24時間、300日/年  |
| 余熱利用                   | 計画余剰電力(約740kW)は電気小売業者の(株)エネットに売却予定   |
| 排水                     | 施設排水は炉内噴霧処理  |
| 工期                     | 設置許可証受領後着工、令和8年10月負荷試運転開始、12月竣工  |

※経済産業省には  
発電所の工事計画  
届出済(1/20)

※平均的な日本家  
庭の一日電気使用  
量約2,700戸分

# 主要設備イメージ図

焼却炉



- ・ストーカ式
- ・水冷火格子(燃烧部)
- ・水冷ジャケット+耐火物構造
- ・メーカー:(株)アクトリー

ボイラ



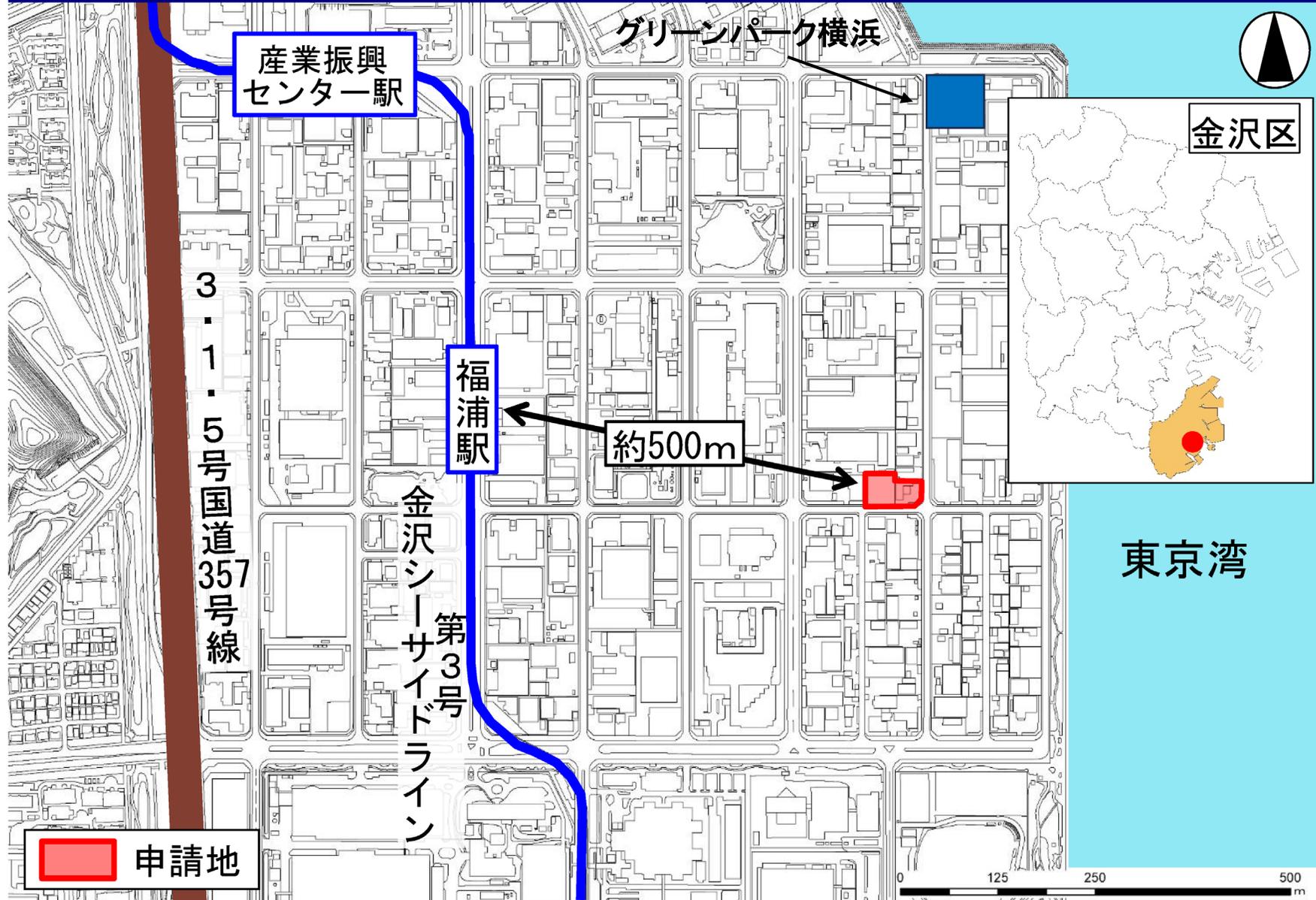
- ・自然循環式廃熱ボイラ  
(屋外式)
- ・メーカー:三菱重エパワー  
インダストリー(株)

蒸気タービン・発電機



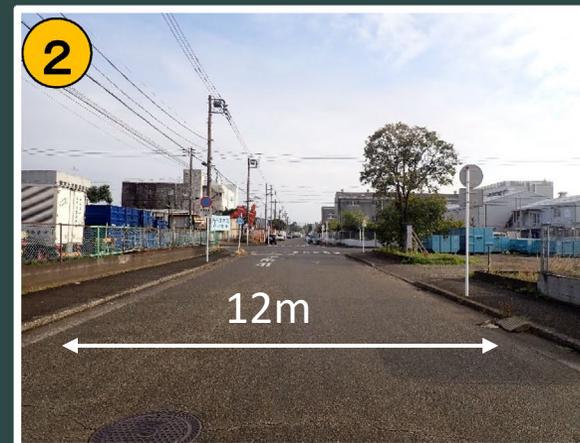
- ・メーカー  
蒸気タービン:(株)シンコー  
発電機 :西芝電機(株)

# 位置図





# ■ 周辺状況



 申請地

東京湾



# 事業計画地の状況(令和7年1月6日現在)



| 建築計画のお知らせ   |   |
|---|---|
| 敷地の地名地番   | 神奈川県横浜市金沢区福浦二丁目15番16、15番17  |
| 名称  | (仮称) アイテック横浜新炉計画  |
| 用途  | 工場(事務所付) 工事の種類 新築   |
| 敷地面積  | 2,639.90㎡ 構造 鉄骨造  |
| 建築面積  | 1,221.03㎡ 住戸数 0   |
| 延べ面積  | 2,011.10㎡ 駐車台数 1台   |
| 概高さ   | 27.8m 階数・棟数 地上3階・地下0階・4棟  |
| 報告書提出年月日  | 令和7年11月27日 横浜市受理書交付年月日 令和6年3月25日                                  |
| 着工予定年月日   | 令和7年1月6日 完了予定年月日 令和8年3月31日  |
| 住 所   | 大阪府大阪市北区梅田一丁目13番1号<br>大阪梅田ソイングワーズ・サウス                             |
| 建築主   | 氏名 アイテック株式会社 代表取締役 前田 幸治  |
| 設計者   | 住 所 神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目6番1号<br>氏名 大和ハウス工業株式会社南関東流通一級建築士事務所<br>林 哲也 |
| 工事施工者   | 住 所 神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目6番1号<br>氏名 大和ハウス工業株式会社 南関東支社 執行役員支社長 齋藤 栄司  |
| 標識設置年月日   | 令和5年11月20日  |
| 標識設置届受付番号   | R5 第 1212 号   |
| <small>この標識は、横浜市中高層建築物等の建築及び開発事業に係る住環境の保全等に関する条例に基づき設置したものです。この建築計画又は工事について同条例に基づく説明を求められる方は、次の連絡先に申し出てください。<br/>連絡先 神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目6番1号<br/>大和ハウス工業株式会社 南関東支社 流通店舗設計部 第四課 井上 雄一<br/>電話 045(650)5318</small> |   |

横浜市中高層条例に基づく標識

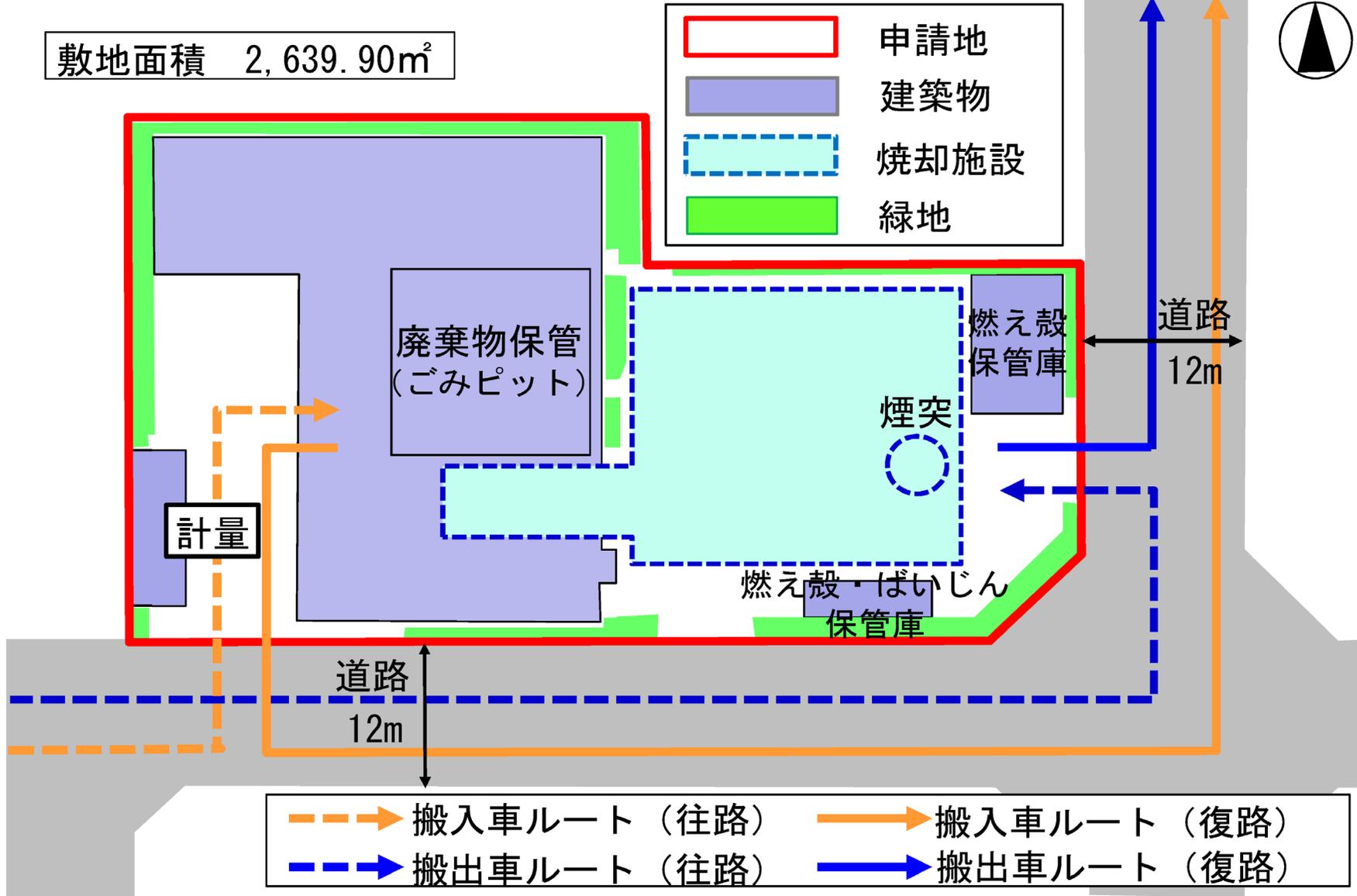
- ・現状空地
- ・コンテナ及び車両置場として使用中



# ■ 処理フロー（配置図）

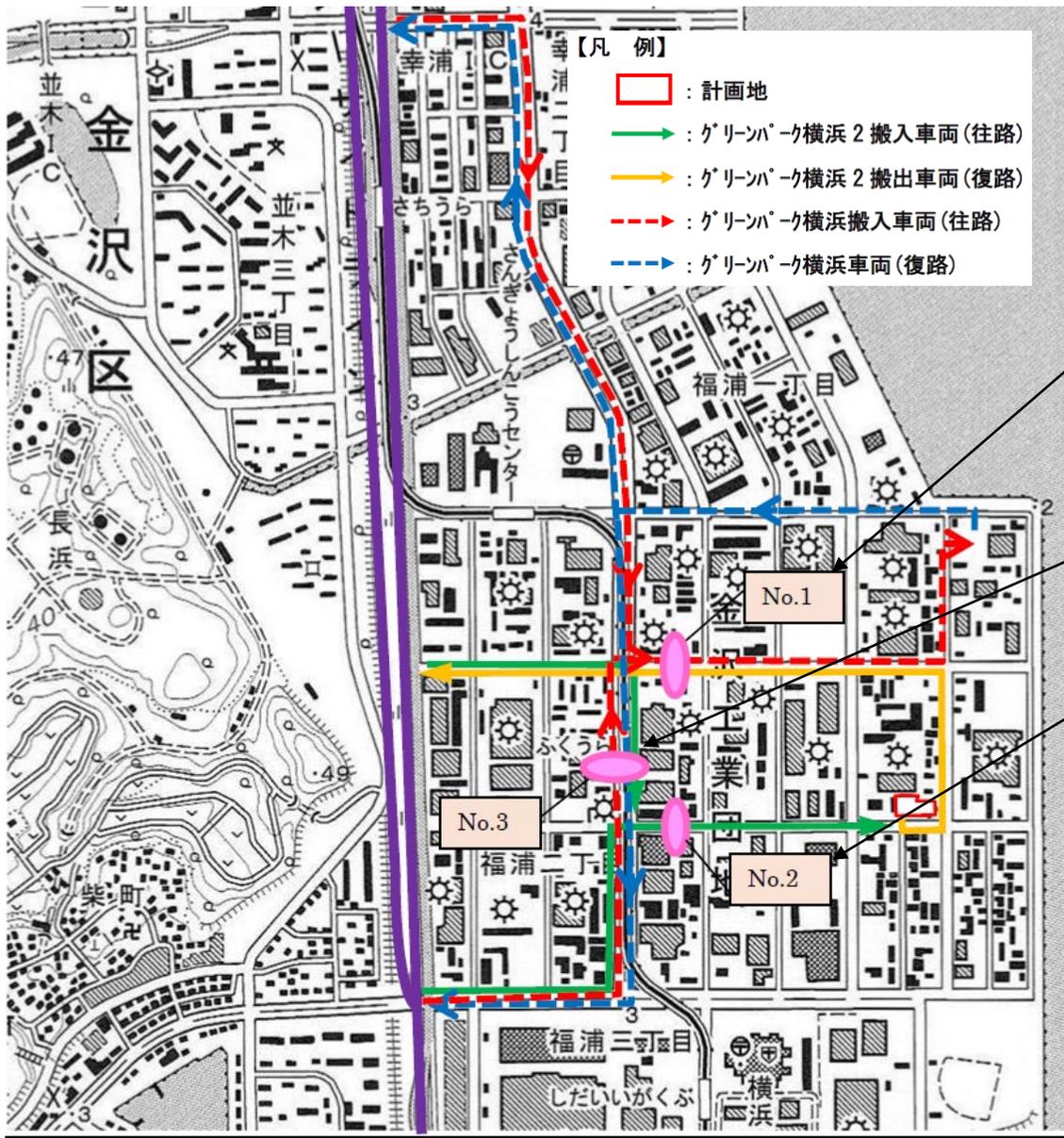
敷地面積 2,639.90m<sup>2</sup>

|   |      |
|---|------|
|  | 申請地  |
|  | 建築物  |
|  | 焼却施設 |
|  | 緑地   |



|   |            |   |            |
|---|------------|---|------------|
|  | 搬入車ルート（往路） |  | 搬入車ルート（復路） |
|  | 搬出車ルート（往路） |  | 搬出車ルート（復路） |

# 交通量・搬出入ルート・台数



6時～23時  
平日17時間交通量

交通量調査

No.1 約3,300台/日  
(市道長浜81号線)

No.3 約3,200台  
(市道長浜55号線)

No.2 約1,000台  
(市道柴町109号線)

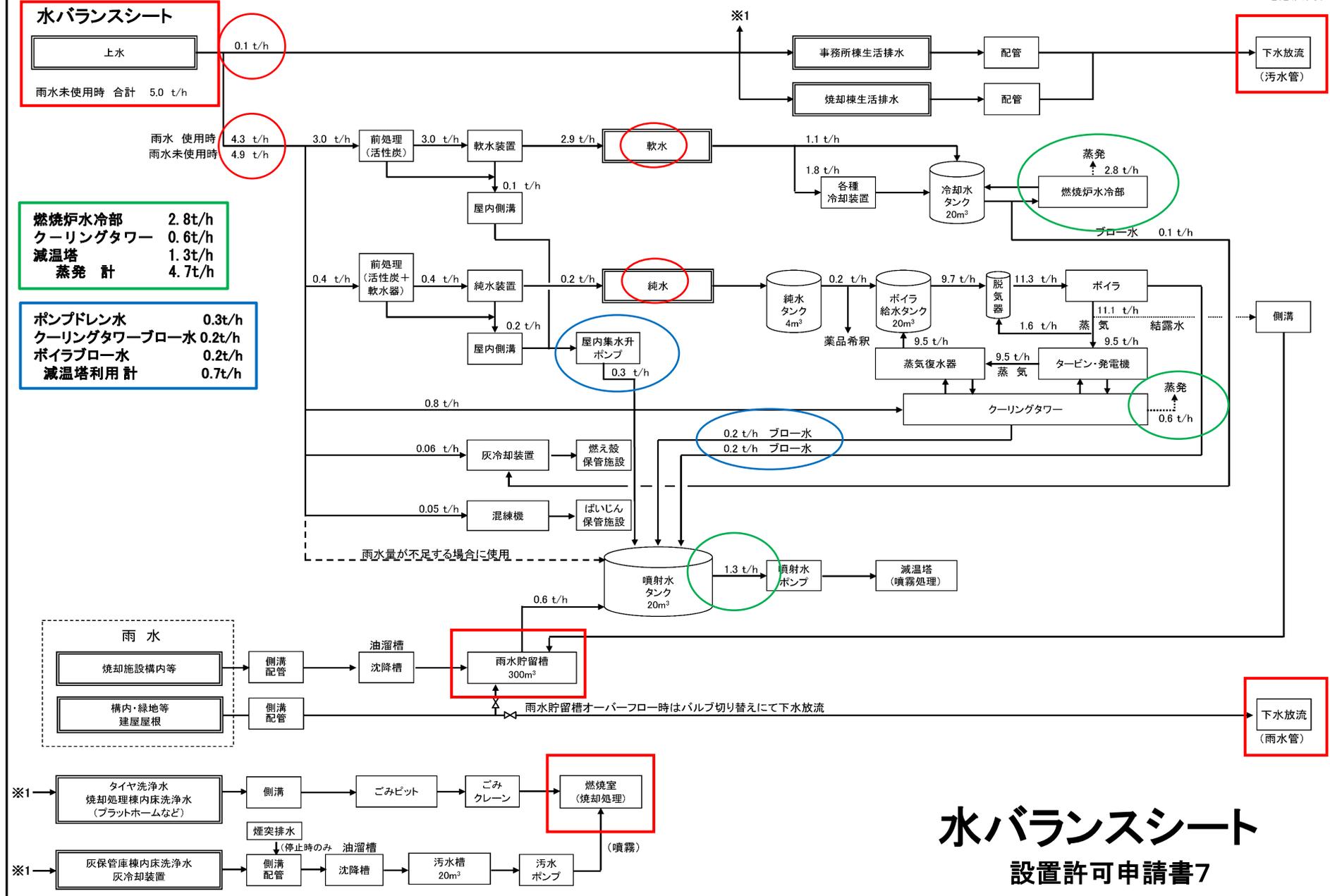
搬入車両台数  
最大62台/日  
(往復124台/日)

### 水バランスシート

|           |         |
|-----------|---------|
| 上水        | 0.1 t/h |
| 雨水未使用時 合計 | 5.0 t/h |

|          |         |
|----------|---------|
| 燃焼炉水冷部   | 2.8 t/h |
| クーリングタワー | 0.6 t/h |
| 減温塔      | 1.3 t/h |
| 蒸発 計     | 4.7 t/h |

|              |         |
|--------------|---------|
| ポンプドレン水      | 0.3 t/h |
| クーリングタワーブロー水 | 0.2 t/h |
| ボイラブロー水      | 0.2 t/h |
| 減温塔利用計       | 0.7 t/h |



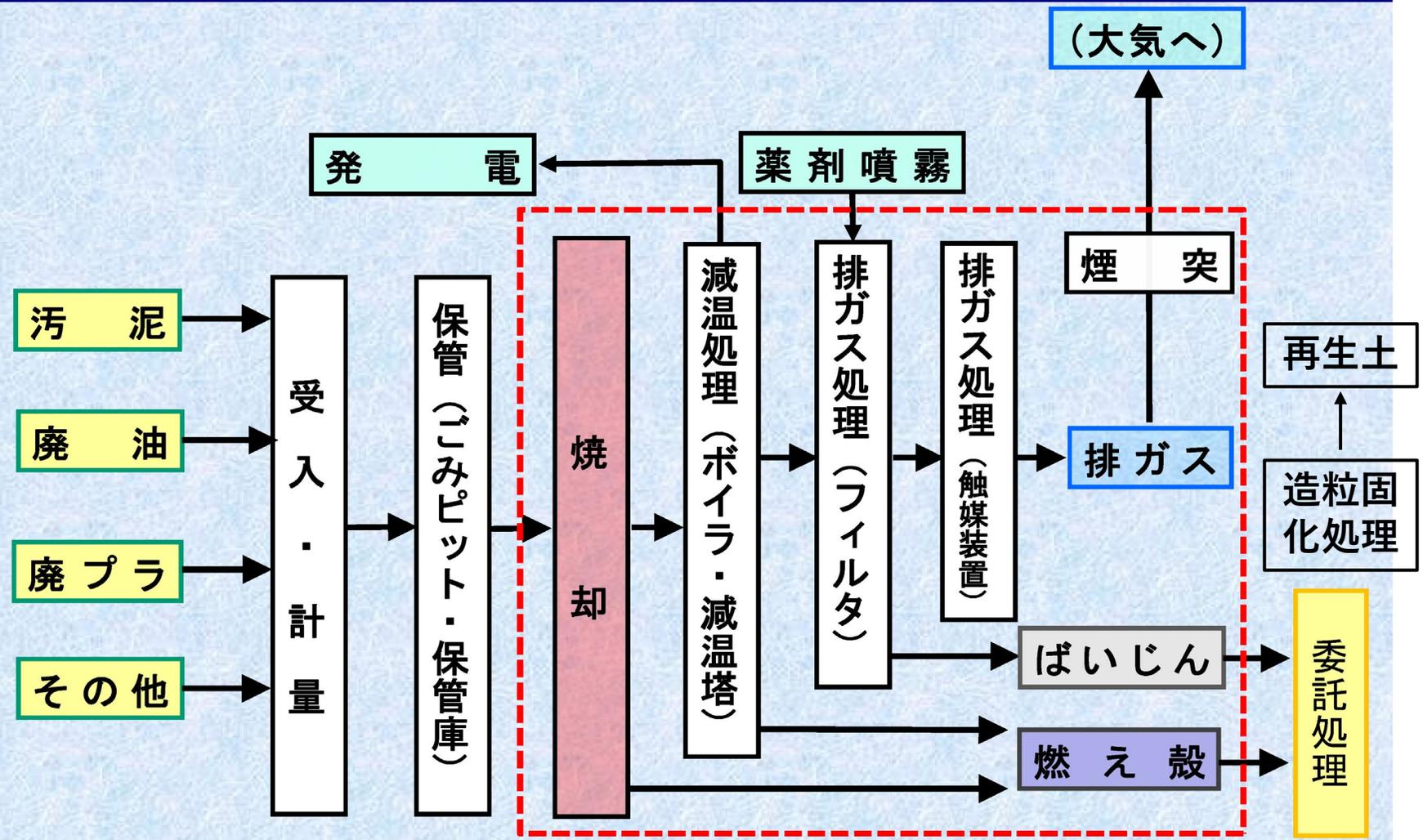
# 水バランスシート

## 設置許可申請書7

# 協力業者・施設完成予想図

| 工種       | 協力業者            | 所在地    |
|----------|-----------------|--------|
| 生活環境影響調査 | (株)オオスミ         | 横浜市瀬谷区 |
| 建築工事     | 大和ハウス工業(株)南関東支社 | 横浜市西区  |
| 焼却発電設備工事 | (株)アクトリー        | 石川県白山市 |





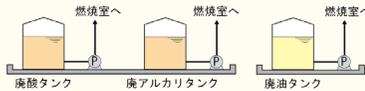
(稼働時間：24時間)

     許可対象施設

# 廃棄物焼却発電設備 フローシート

## 受入・保管工程

廃棄物は屋内  
またはタンクで保管



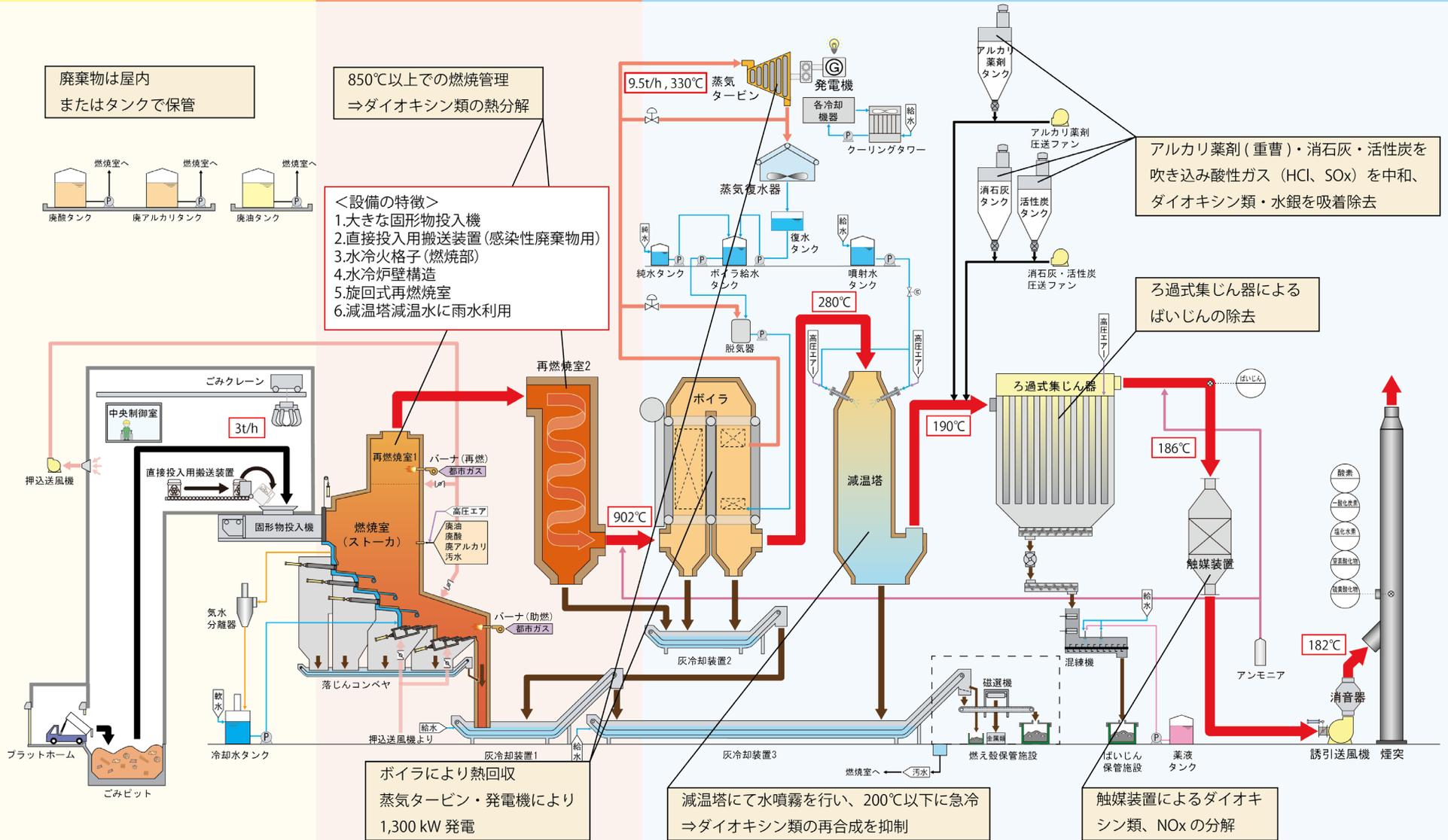
## 燃烧工程

850℃以上での燃烧管理  
⇒ダイオキシン類の熱分解

<設備の特徴>

1. 大きな固形物投入機
2. 直接投入用搬送装置 (感染性廃棄物用)
3. 水冷火格子 (燃烧部)
4. 水冷炉壁構造
5. 巡回式再燃烧室
6. 減温塔減温水に雨水利用

## 発電・排ガス処理工程



アルカリ薬剤 (重曹)・消石灰・活性炭を  
吹き込み酸性ガス (HCl, SOx) を中和、  
ダイオキシン類・水銀を吸着除去

ろ過式集じん器による  
ばいじんの除去

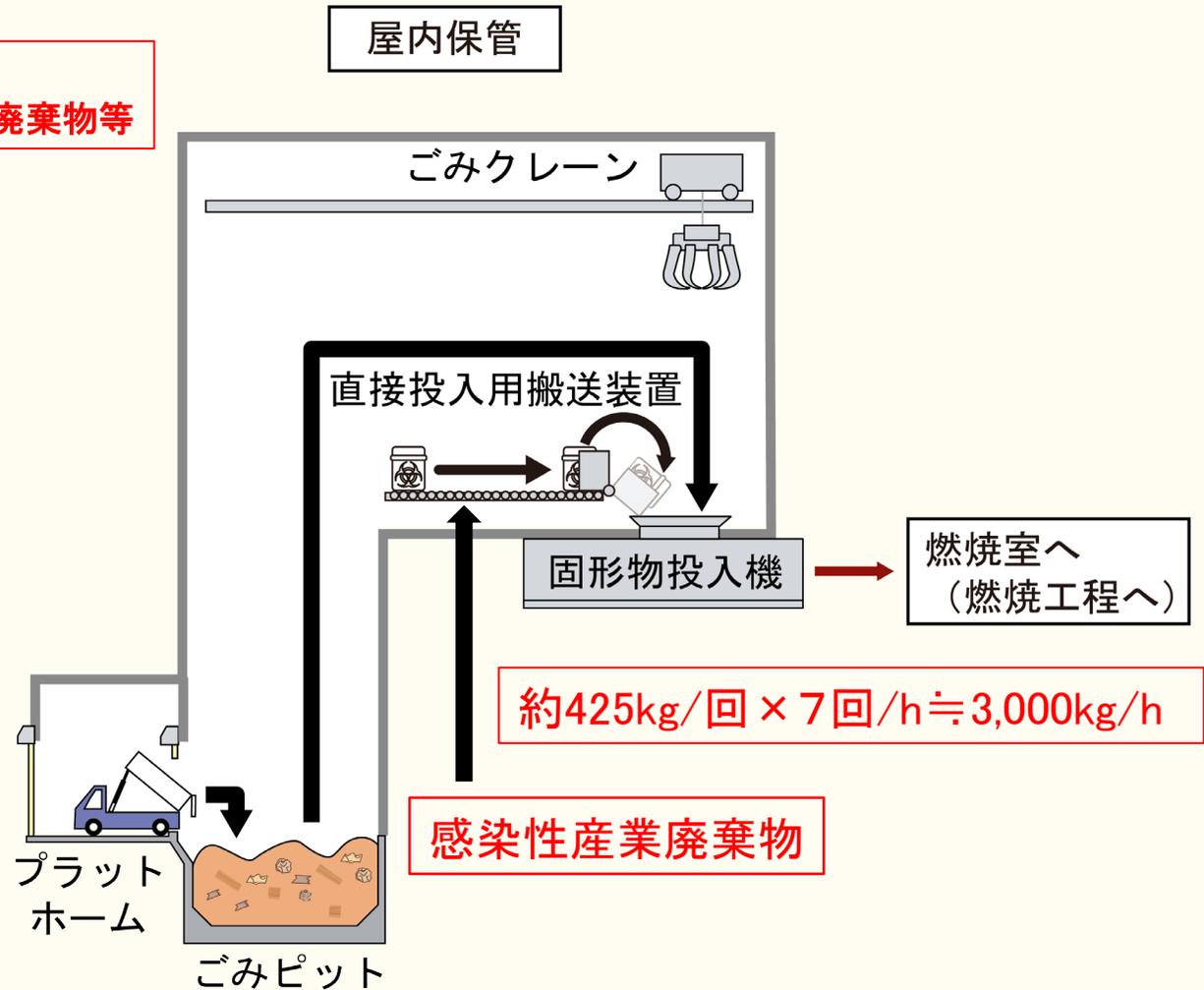
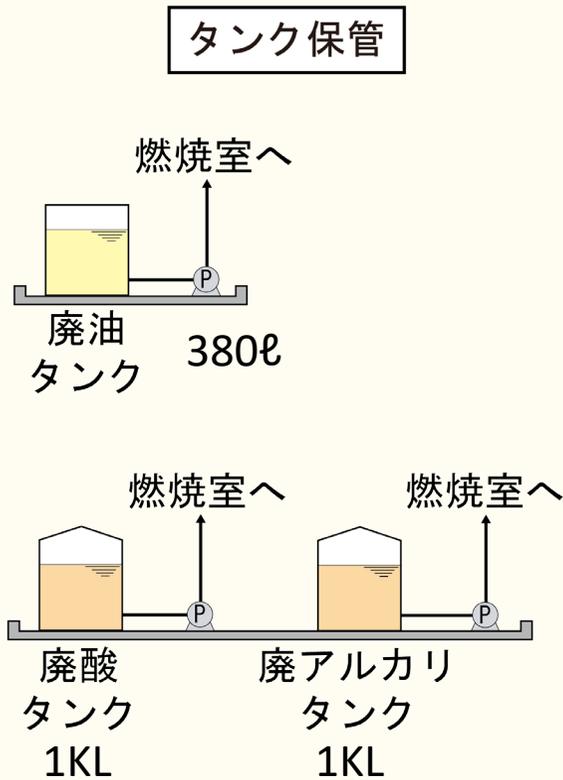
ボイラにより熱回収  
蒸気タービン・発電機により  
1,300 kW 発電

減温塔にて水噴霧を行い、200℃以下に急冷  
⇒ダイオキシン類の再合成を抑制

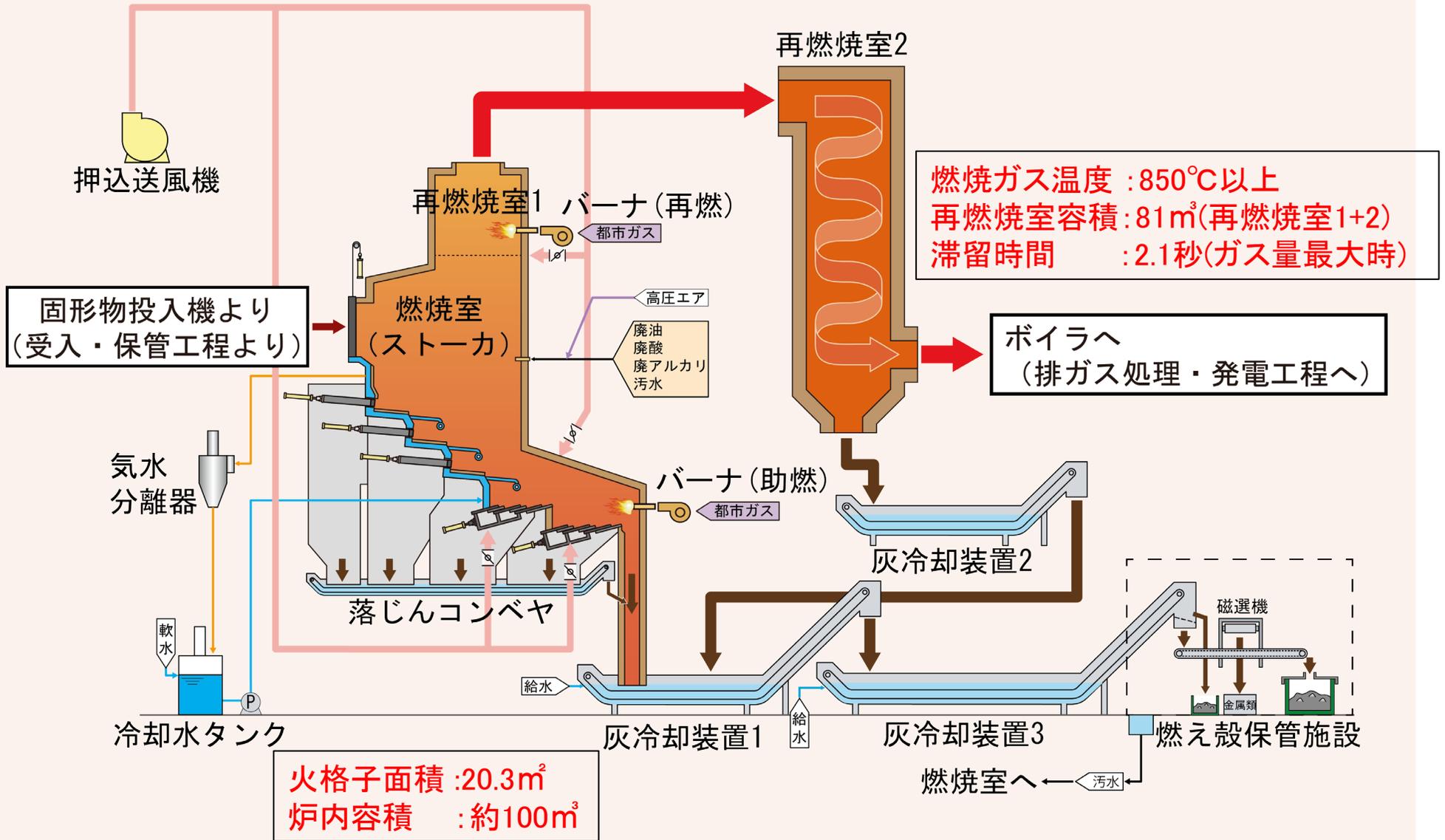
触媒装置によるダイオキ  
シン類、NOx の分解

# 受入・保管工程

タンク保管 : 廃油、廃酸、廃アルカリ  
屋内保管 : 廃プラスチック類、感染性産業廃棄物等



# 燃烧工程



# 発電・排ガス処理工程

入口ガス温度: 280°C  
 出口ガス温度: 190°C  
 上水、ドレン・ブロー水、雨水利用

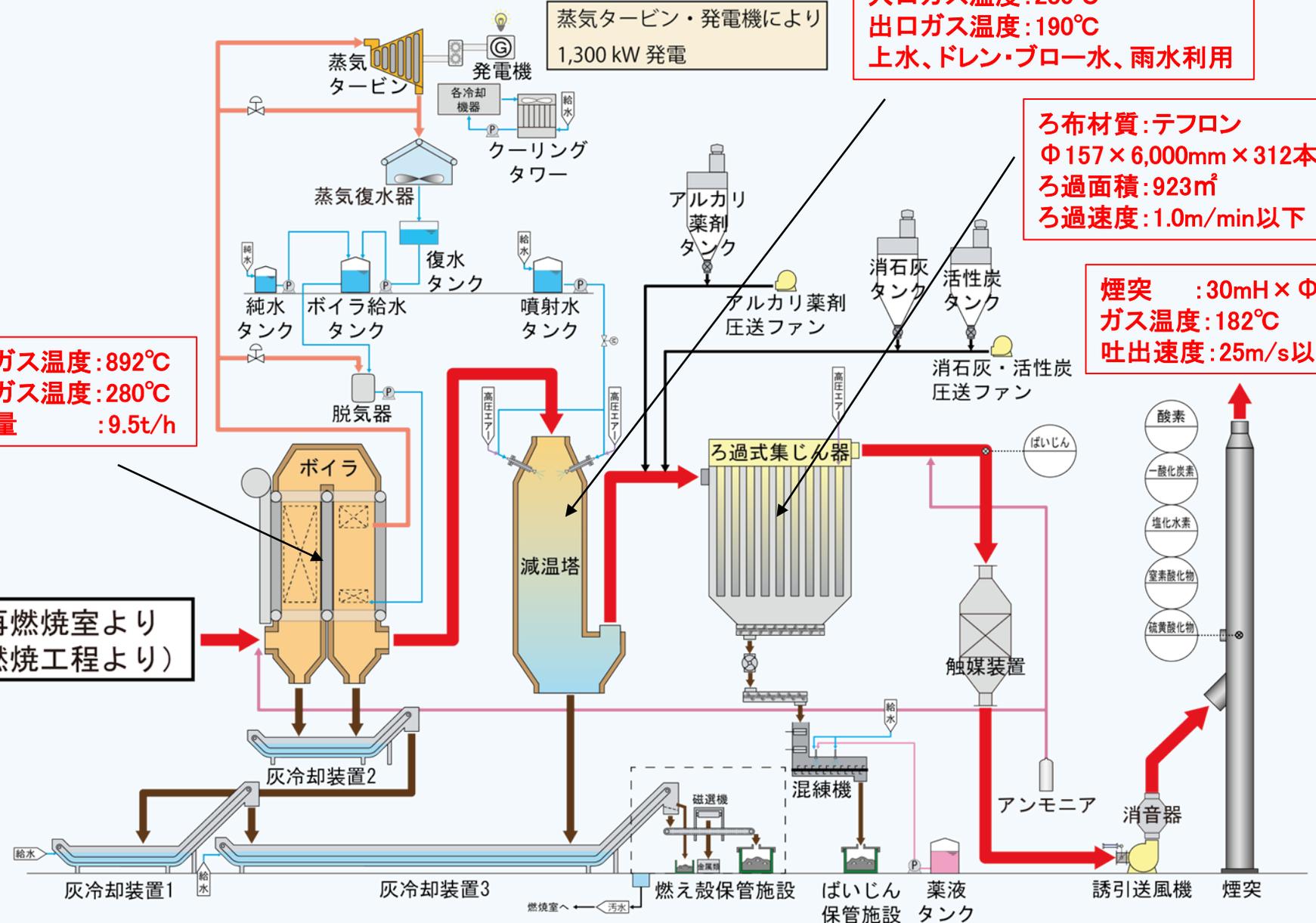
蒸気タービン・発電機により  
 1,300 kW 発電

ろ布材質: テフロン  
 Φ157×6,000mm×312本  
 ろ過面積: 923m<sup>2</sup>  
 ろ過速度: 1.0m/min以下

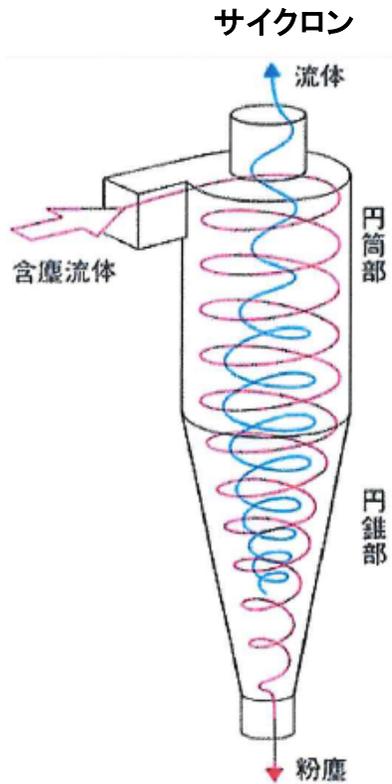
煙突 : 30mH×Φ920  
 ガス温度: 182°C  
 吐出速度: 25m/s以下

入口ガス温度: 892°C  
 出口ガス温度: 280°C  
 蒸発量 : 9.5t/h

再燃焼室より  
 (燃焼工程より)



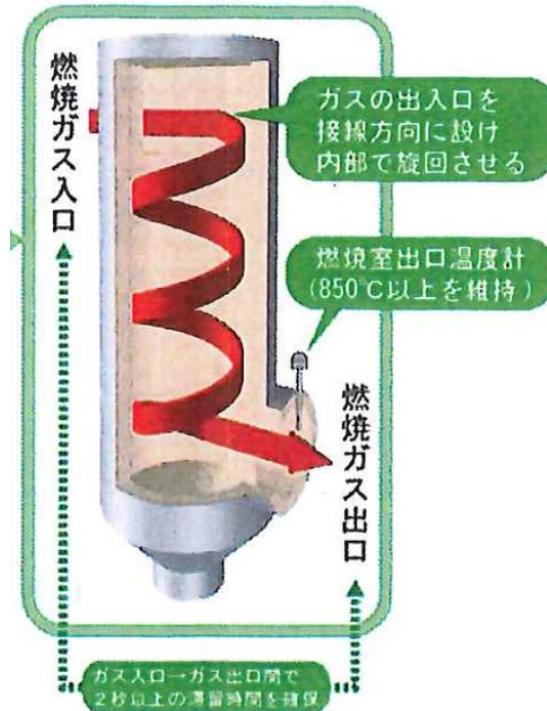
# 排出ガス処理施設(サイクロンの設置なし)



●横浜市生活環境の保全等に関する条例施行規則の排出ガス処理施設の設備基準

「排出ガス冷却装置並びにサイクロン及びバグフィルター又はこれらと同等以上の機能を有する集じん装置を設置すること」

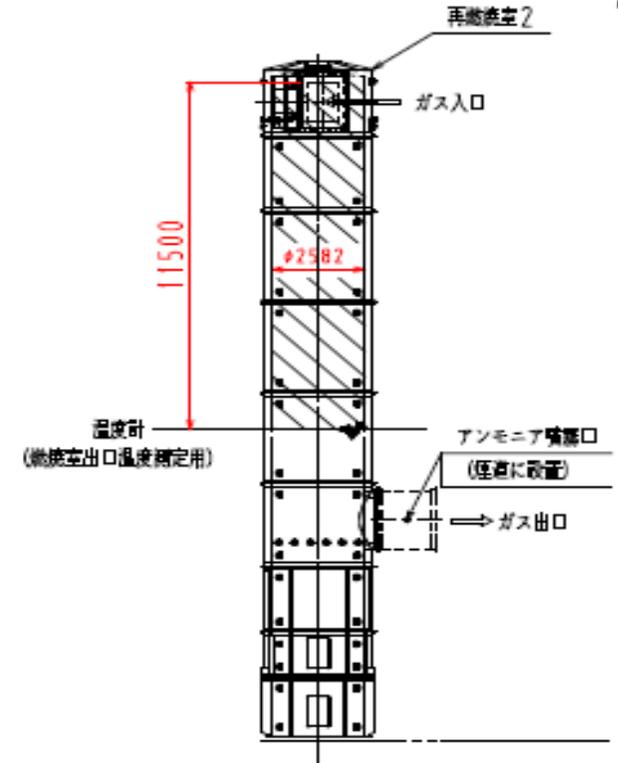
回転式再燃焼室



●(株)アクトリーの「回転式再燃焼室」は、サイクロンと同等の集じん効果(75~85%)を有しており、大気・音環境課(大気担当)と質疑応答の結果、「サイクロンと同等の集じん効果を有する」と認められました。

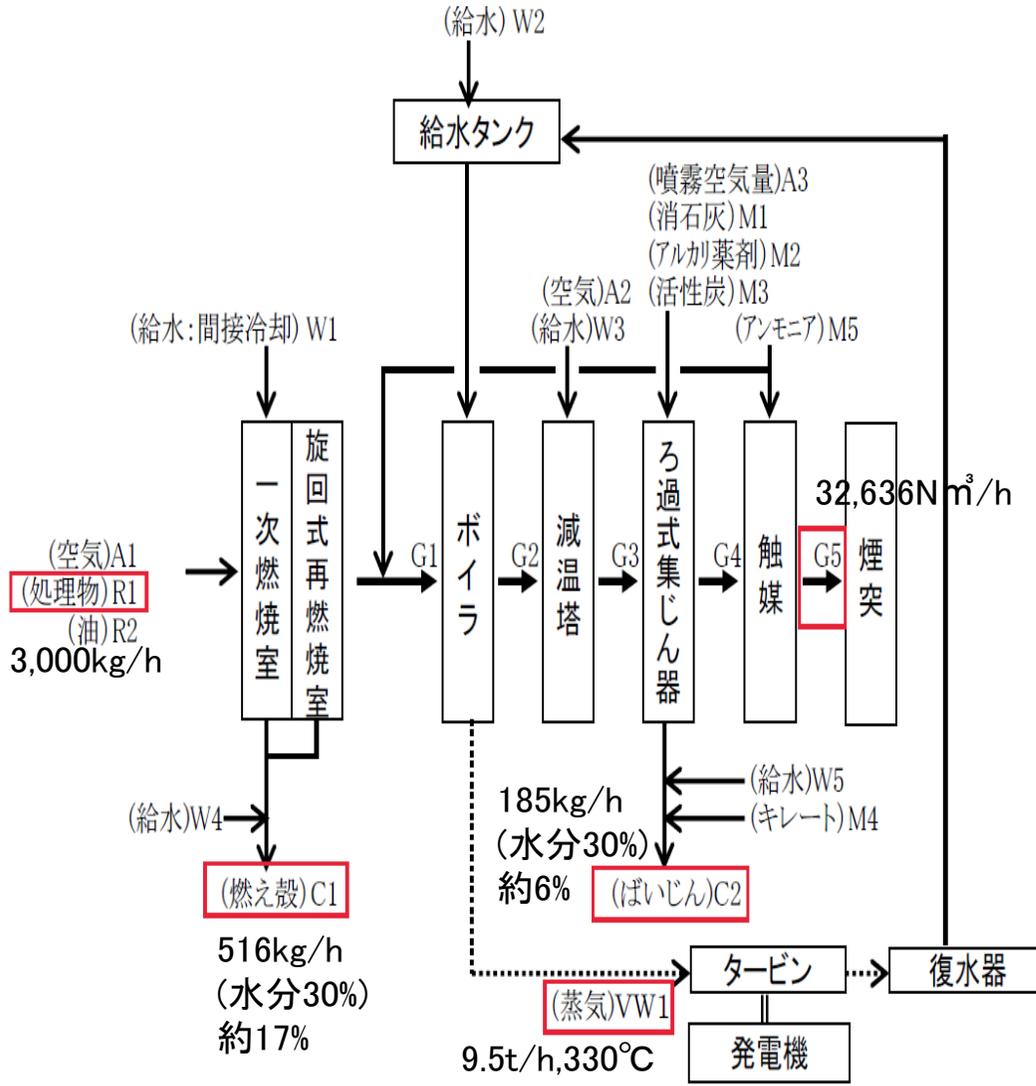
令和4年12月 協議開始  
令和5年 6月27日 協議終了

回転式再燃焼室 計画図



●したがって、今回の排出ガス処理施設の設備は、「排出ガス冷却装置並びにバグフィルター及び触媒装置」とし、サイクロンを設置していません。

# 物資収支



<排ガス系>

|                     |                        | G1     | G2  | G3     | G4     | G5     |
|---------------------|------------------------|--------|-----|--------|--------|--------|
| 乾きガス量               | Nm <sup>3</sup> /h     | 27,420 | ←   | 27,660 | 28,140 | 28,140 |
| 湿りガス量               | Nm <sup>3</sup> /h     | 30,270 | ←   | 32,156 | 32,636 | 32,636 |
| 温度                  | °C                     | 902    | 280 | 190    | 186    | 182    |
| 酸素濃度                | %                      | 11.7   | ←   | 11.8   | 12.0   | 12.0   |
| ばいじん                |                        |        |     |        |        |        |
| O <sub>2</sub> 換算濃度 | g/Nm <sup>3</sup>      | 2.00   | ←   | ←      | 0.02   | 0.02   |
| 硫黄酸化物               | ppm                    | 46     | ←   | 46     | 40     | 40     |
| O <sub>2</sub> 換算濃度 |                        | -      | -   | -      | -      | 40     |
| K値                  |                        | -      | -   | -      | -      | 0.46   |
| 塩化水素                | mg/Nm <sup>3</sup>     | 1,328  | ←   | 1,316  | 44     | 44     |
| O <sub>2</sub> 換算濃度 | mg/Nm <sup>3</sup>     | -      | -   | -      | 44     | 44     |
| 窒素酸化物               |                        |        |     |        |        |        |
| O <sub>2</sub> 換算濃度 | ppm                    | 120    | ←   | ←      | ←      | 60     |
| ダイオキシン類             |                        |        |     |        |        |        |
| O <sub>2</sub> 換算濃度 | ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> | -      | -   | -      | -      | ≤0.1   |

<給水>

|       | kg/h  | °C |
|-------|-------|----|
| W1    | 2,800 | 20 |
| W2    | 95    | 20 |
| W3    | 1,323 | 20 |
| W4    | 155   | 20 |
| W5    | 49    | 20 |
| 給水量合計 | 4,422 |    |

<燃料・薬剤・排出>

|    | kg/h  |               |
|----|-------|---------------|
| R1 | 3,000 | 処理物           |
| R2 | 0     | 都市ガス          |
| C1 | 516.4 | 水分30%         |
| C2 | 185.3 | 水分30%         |
| M1 | 55.4  | 高反応消石灰        |
| M2 | 13.0  | アルカリ薬剤        |
| M3 | 5.6   | 活性炭           |
| M4 | 6.5   | キレート          |
| M5 | 2.57  | アンモニア(純度100%) |

<蒸気>

|     | kg/h  | °C  |
|-----|-------|-----|
| VW1 | 9,500 | 330 |

<空気>

|    | Nm <sup>3</sup> /h | °C |
|----|--------------------|----|
| A1 | 27,990             | 20 |
| A2 | 240                | 20 |
| A3 | 480                | 20 |

# 環境保全対策

| 項目         | 環境保全対策の概要  |
|------------|--|
| 大気汚染       | 法令等規制値以下による運転維持管理  |
| 水質汚濁       | 事務所棟生活排水：下水放流（污水管）<br>施設排水：焼却炉内で噴霧処理<br>構内雨水：雨水貯留槽に貯留し減温塔で噴霧処理<br>（雨水貯留槽がオーバーフロー時は下水放流（雨水管）） |
| 交通環境       | 低公害車導入、エコドライブ徹底、マイカー通勤を極力自粛  |
| 騒音・振動・低周波音 | 騒音・振動主要発生機器は極力屋内設置<br>防音壁・防音カバー設置<br>低騒音・低振動型機器採用  |
| 悪臭         | 廃棄物の屋内又はタンク内保管<br>廃棄物ピット内の空気は燃焼空気として燃焼脱臭<br>シートシャッター設置による悪臭漏洩防止                              |
| 粉じん        | 粉じん発生作業は極力屋内で実施  |
| 土壌・地下水汚染   | 施設内床、ごみピット、污水貯留槽はコンクリート構造  |

## 維持管理値（大気規制値と計画目標値）

| 項目      | 排出濃度単位                  | 計画目標値  | 法・条例による規制値 |
|---------|-------------------------|--------|------------|
| ばいじん    | g/m <sup>3</sup> N      | 0.02以下 | 0.08以下     |
| 窒素酸化物   | ppm                     | 60以下   | 250以下      |
| 硫黄酸化物   | ppm                     | 40以下   | 95以下       |
| 塩化水素    | ppm                     | 28以下   | 430以下      |
| ダイオキシン類 | ng-TEQ/m <sup>3</sup> N | 0.1以下  | 1以下        |

（注）計画目標値は横浜市及び金沢シーサイドタウン連合連合自治会との協定値

## 維持管理値(騒音・振動・悪臭)

| 区分 | 項目                         | 計画目標値 | 法、条例による規制値 | 備考    |
|----|----------------------------|-------|------------|-------|
| 騒音 | 午前 8時～午後 6時                | 70dB  | 70dB       |       |
|    | 午前 6時～午前 8時<br>午後 6時～午後11時 | 65dB  | 65dB       |       |
|    | 午後11時～午前 6時                | 55dB  | 55dB       |       |
| 振動 | 午前 8時～午後 7時                | 70dB  | 70dB       |       |
|    | 午後 7時～午前 8時                | 60dB  | 60dB       |       |
| 悪臭 | 臭気指数                       | 35    | 35         | 排出口   |
|    |                            | 15    | 15         | 敷地境界線 |

# 各種管理項目測定頻度

| 区分   | 場所       | 項目      | 頻度    | 備考         |  |
|------|----------|---------|-------|------------|--|
| 排ガス  | 煙突       | ダイオキシン類 | 1回/年  | ばいじん、燃え殻含む |  |
|      |          | 硫黄酸化物   | 6回/年  |            |  |
|      |          | ばいじん    | 2回/年  |            |  |
|      |          | 塩化水素    |       |            |  |
|      |          | 窒素酸化物   |       |            |  |
|      |          | 炭化水素系物質 |       |            |  |
|      |          | 排煙指定物質  |       |            |  |
|      |          |         | 全水銀   |            |  |
|      |          |         | 一酸化炭素 | 連続測定       |  |
| 燃え殻  |          | 熱灼減量    | 1回/月  | 自主測定       |  |
| ばいじん |          | 溶出試験    |       | 自主測定(鉛のみ)  |  |
| 騒音   | 敷地境界     |         | 1回/月  | 自主測定       |  |
| 振動   |          |         | 点検異常時 |            |  |
| 臭気   | 敷地境界、排出口 | 臭気指数    | 1回/年  |            |  |
| 排水   | 雨水排水口    | ダイオキシン類 | 1回/年  | 覚書         |  |

# 大気環境監視項目

| 対策   | 監視項目  | 濃度                         | 排出量                   | 焼却量 | 燃料<br>使用量 |
|--|---|----------------------------|-----------------------|-----|-----------|
| 横浜市と<br>環境保全協定書・覚書締結                                 | 硫黄酸化物<br>窒素酸化物<br>ばいじん<br>塩化水素<br>ダイオキシン類               | ●<br>●<br>●<br>●<br>●      | ●<br>●<br>●<br>●<br>● |     |           |
| 横浜市の<br>大気発生源常時監視テレ<br>メータシステムによる焼却量、<br>ばい煙濃度等の常時共有 | 焼却量<br>燃料使用量<br>酸素濃度<br>窒素酸化物<br>硫黄酸化物<br>塩化水素<br>一酸化炭素 | ●<br>●<br>●<br>●<br>●<br>● |                       | ●   | ●         |
| 金沢シーサイド連合自治会<br>と覚書締結                                | 硫黄酸化物<br>窒素酸化物<br>ばいじん<br>塩化水素<br>ダイオキシン類               | ●<br>●<br>●<br>●<br>●      | ●<br>●<br>●<br>●<br>● |     |           |

# 情報の公表

| 方法                | 項目    |              | 頻度   |
|-------------------|-------|--------------|------|
| ホームページ            | 処分量   | 産業廃棄物の種類、数量  | 毎月   |
|                   | ばいじん量 | 冷却設備、排ガス処理設備 |      |
|                   | 排ガス濃度 | ダイオキシン類      | 1回/年 |
|                   |       | 硫黄酸化物        | 6回/年 |
|                   |       | ばいじん         | 2回/年 |
|                   |       | 塩化水素         |      |
|                   |       | 窒素酸化物        |      |
|                   |       | 炭化水素系物質      |      |
| 排煙指定物質            |       |              |      |
| 事務所に据置<br>(翌月末まで) | 運転状況  | 燃焼室排ガス温度     | 毎月   |
|                   |       | 集じん器入口排ガス温度  |      |
|                   |       | 煙突排ガス一酸化炭素濃度 |      |

# 事前ご質問事項の回答

| 処理施設指導係事前説明日 | ご質問の回答スライド頁 |
|--------------|-------------|
| 1月23日        | 29～33       |
| 1月30日        | 34～35       |
| 2月 6日        | 36～39       |
| 2月12日        | 40～45       |
| 1月22日        | 66～69       |

# 触媒装置(1/23ご質問事項1/2)

## ご質問

触媒装置入口の排ガス温度は190℃とのことだが、通常の触媒だと温度が低く反応しない。

再加熱などしないのか？

この温度で反応する低温触媒は通常より高価なものになるが、低温触媒を用いるという理解で良いか？

## 回答

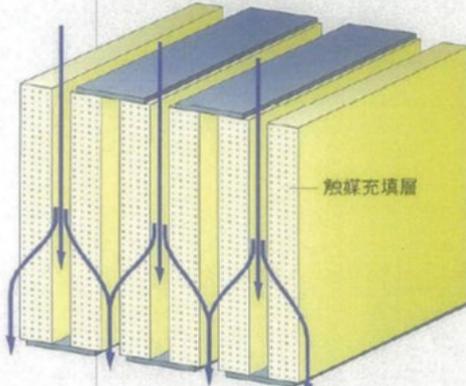
160℃以上で作動する低温触媒を採用しています。

**構造と原理**

触媒



触媒モジュール



触媒充填層

シェルグループは永年 石油精製、化学品製造用触媒のリーディングカンパニーとして活躍しています。触媒はシェル社オランダ・アムステルダム中央研究所が開発、CRI社・ベルギー・ゲント工場で製造されています。ダイオキシン反応性・低温性能を向上させた触媒開発するために、度重なる評価試験を重ね完成した触媒は、これまでの同用途の触媒に比べて分解性能は飛躍的に向上され、かつ低温度域(160℃～)でも分解性能の低下が起こりません。また重金属類等の触媒劣化物質に対する耐久性も向上しており、触媒寿命を長くすることが可能となりました。

触媒のもつ性能を余すところなく引き出すために、触媒は専用の反応器(モジュール)に充填された状態で供給されます。モジュールは触媒とガスの接触効率を高めることと、圧力損失を低く抑える相反する要素を両立させたラテラルフロー方式を採用しています。ガス条件、目標ダイオキシン値及び許容圧力損失に従い個別にモジュールは設計され、並列に置くことであらゆるガス量に対応できます。よってそれぞれのプラント毎の異なる条件でも、最適なモジュールが供給され確実にダイオキシン除去目標値をクリアすることが可能です。

標準モジュール寸法：縦2000mm、横1500mm、高さ1500mm

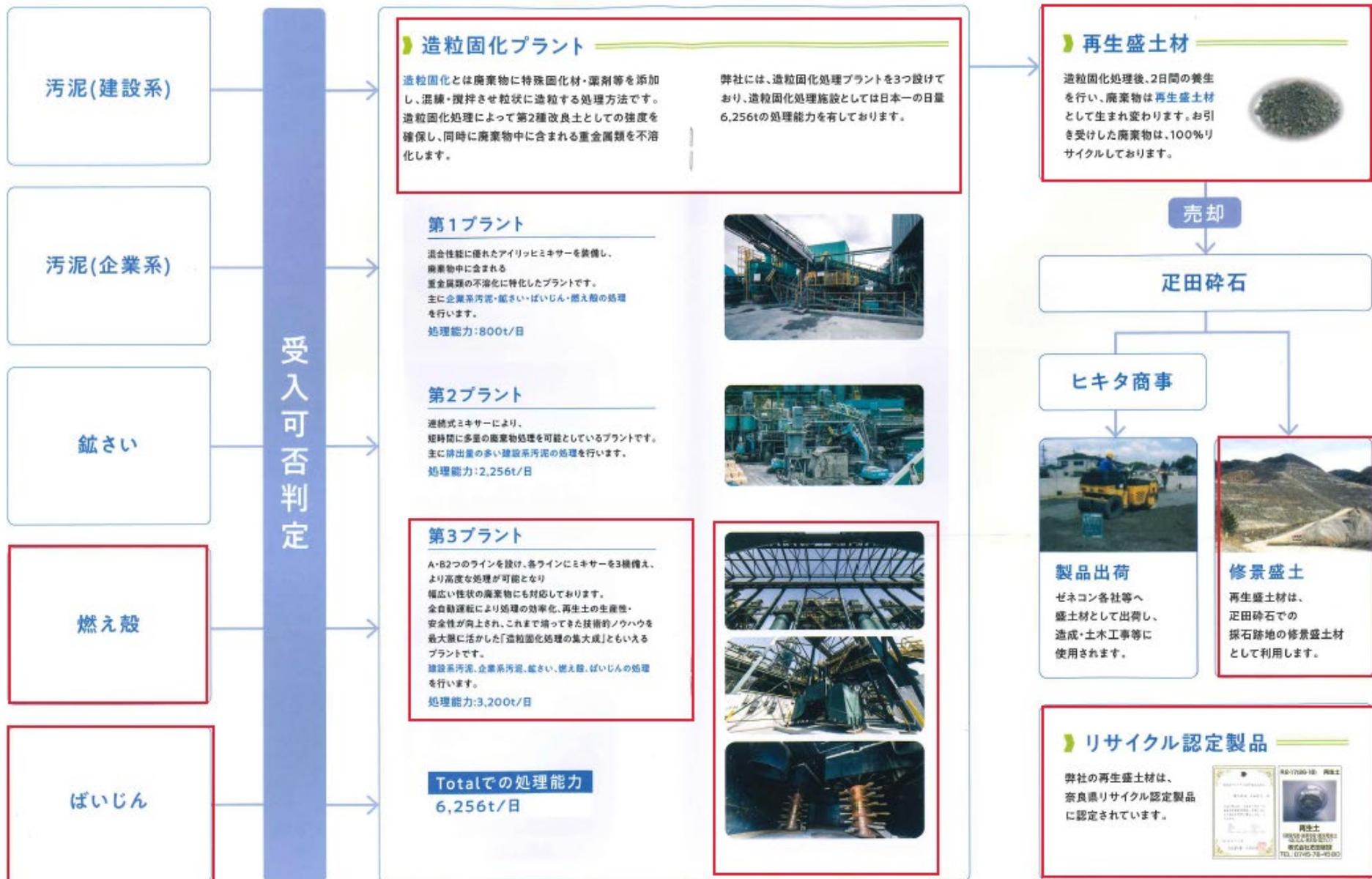
# 燃え殻、ばいじんの再生を委託する事業者(1/23ご質問事項2/2)

(2月13日現地確認)

| ご質問   | 回答   |
|---|--|
| 再生事業者の概要<br>(どのような事業を営む事業者なのか、業者名)  | 産業廃棄物の中間処理(造粒固化)業者<br>株式会社 足田建設(奈良県知事許可番号02926074893号)<br>奈良県香芝市今泉371番地の1  |
| 再生の方法   | 造粒固化(燃え殻、ばいじんに特殊固化剤・薬剤等を添加し、混練・攪拌させ粒状に造粒する処理方法)  |
| 不溶化、無害化の方法、<br>再生材の安全性・安定性<br>に関する説明                                      | 1次品質管理:受入可否検査(燃え殻、ばいじんに含まれる重金属類の溶出量・含有量試験、固化剤効果テスト)<br>2次品質管理:再生土の簡易測定(1回/2h)、強度試験(1回/1,000m <sup>3</sup> )<br>3次品質管理:公定法による再生土の溶出・含有試験(1回/日)<br>4次品質管理:外部分析機関に委託し、土壤環境基準全項目調査 |
| アイテックグリーンパーク<br>横浜(第一工場)は燃え<br>殻、ばいじんをどのように<br>処理しているか具体的に<br>示して開示してほしい。 | アイテックグリーンパーク横浜では発生した燃え殻・ばいじんをフレコンバッグ等で回収・保管後、(株)足田建設などの中間処理(造粒固化)業者に処理を委託しています。<br>(株)足田建設の造粒固化プラントリサイクルの流れを次頁に示します。<br>(31~33頁参照)   |

# 造粒固化プラント リサイクルの流れ

R7.2.13現地確認



## 第3プラント



### 第3プラントは 第1・第2プラントの改良プラント

2018年に完成した  
バッチ式と連続式を併せ持つプラントです。  
3,200t/日の処理能力を有します。

#### 特長1 噛み込みながら混練するダブルロールミキサー (最大100t/h×2ライン)



廃棄物と添加剤などの粉末原料を、回転する2本のロール間に通すことにより、原料中の粘土塊をほぐしながら、同時に添加剤などを確実に練り込むことができます。また、圧縮・粒度調整を行います。

#### 特長2 攪拌性能が格段にアップした連続式2軸パドルミキサー (最大100t/h×2ライン)



原料と添加剤の混合と搬送を同時に行う連続式です。シャフトに取り付けられたパドルが、原料を掻き合わせるように動くため、原料と添加剤の混合・混練・造粒に優れたミキサーです。

#### 特長3 原料を解砕(ほぐす)しながらアイリッヒミキサーに投入する解砕ホッパー



下部にあるアイリッヒミキサーと連動しており、原料を溜めて、固まりつつある原料を解砕(ほぐす)しながら一定量を搬送します。これによりミキサーの機能を最大限に活かすことができます。

#### 特長4 国内最大級のアイリッヒミキサー (最大7m<sup>3</sup>/1バッチ)(1サイクル)

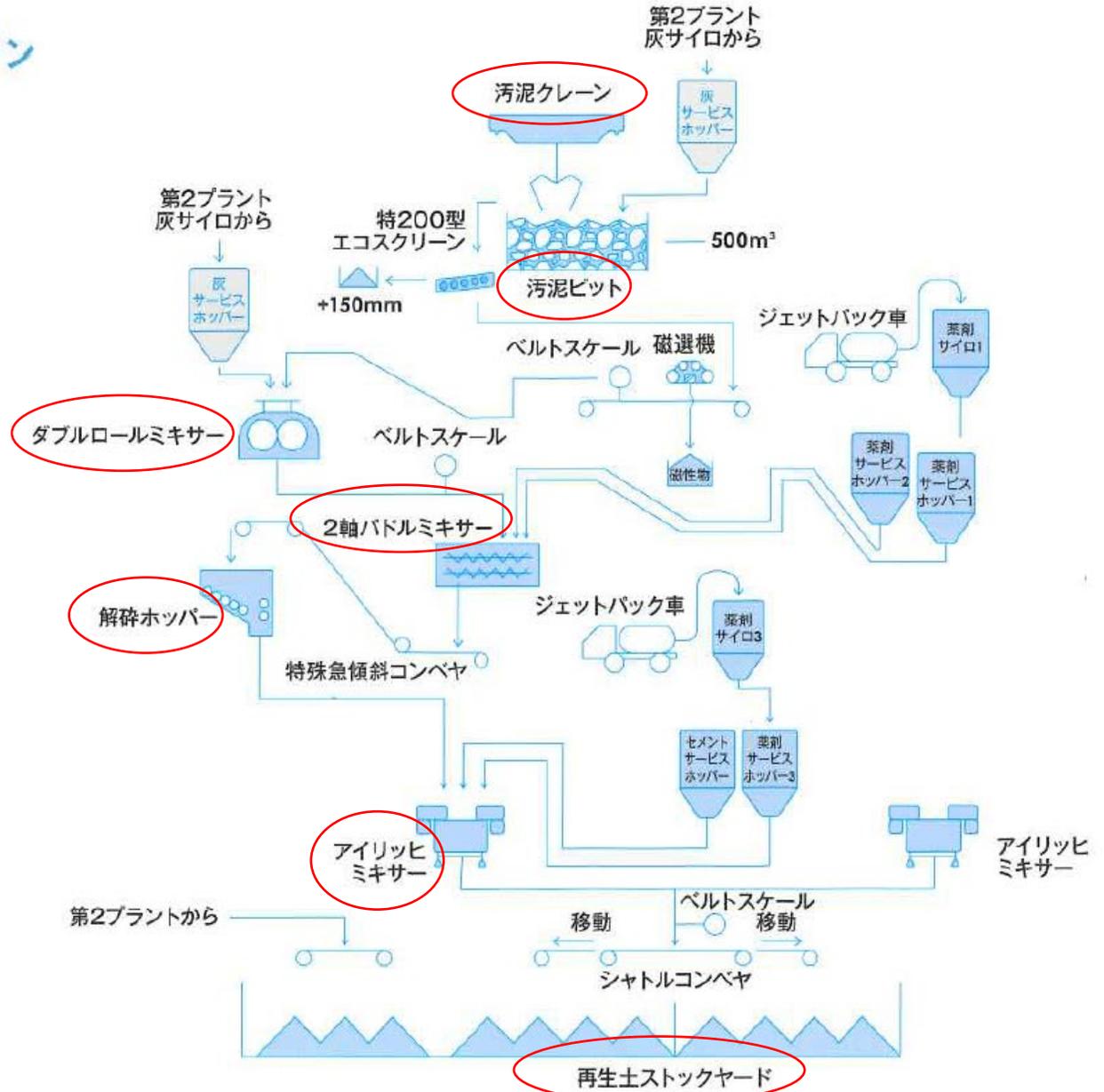
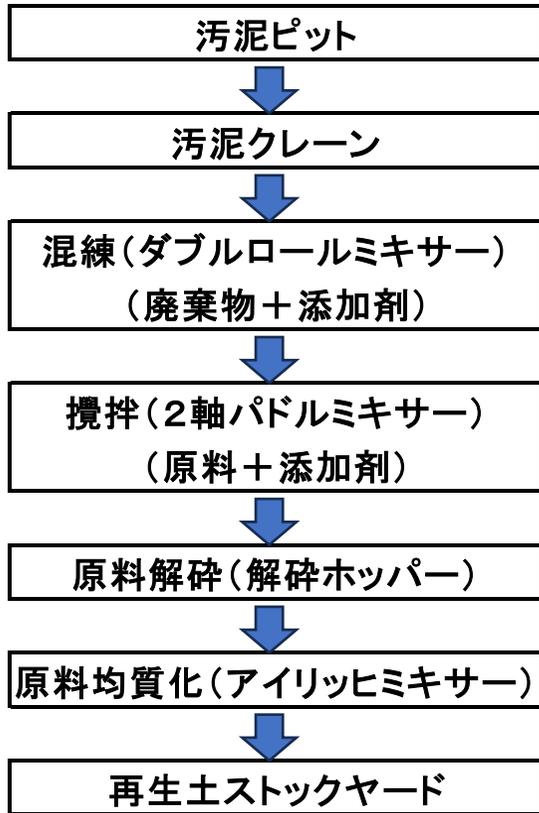


革新的なミキシング技術を持つアイリッヒミキサーは、回転する混合パン(釜)が連続的かつ効率よく、原料を内部にある2本の混合工具へ移動させることにより、原料の均質化・短時間処理を行い品質を高安定化することができる特殊なミキサーです。

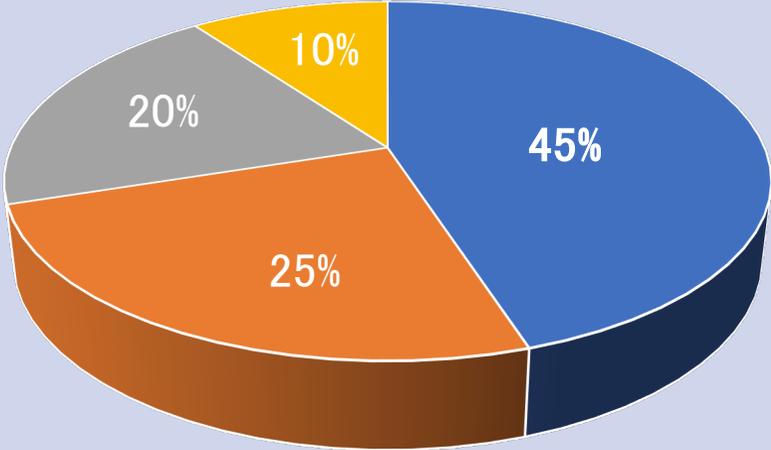
# プラントフロー

## ABライン

### 概略フロー



# 今回の施設で処理する廃棄物について(1/30ご質問事項1/2)

| ご質問  | 回答  |    |    |     |     |      |     |     |     |      |     |
|--|---|----|----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|
| <p>今回の施設で処理する廃棄物の出所はどこか？<br/>市内や市外、その割合等について</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・基本的に関東圏1都6県(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県)の廃棄物を想定</li><li>・廃棄物の受入地域想定割合<br/>横浜市45%、神奈川県内25%、東京都20%、埼玉県他10%</li></ul>  <table border="1"><thead><tr><th>地域</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>横浜市</td><td>45%</td></tr><tr><td>神奈川県</td><td>25%</td></tr><tr><td>東京都</td><td>20%</td></tr><tr><td>埼玉県他</td><td>10%</td></tr></tbody></table> <p>■ 横浜市 ■ 神奈川県 ■ 東京都 ■ 埼玉県他</p> | 地域 | 割合 | 横浜市 | 45% | 神奈川県 | 25% | 東京都 | 20% | 埼玉県他 | 10% |
| 地域   | 割合  |    |    |     |     |      |     |     |     |      |     |
| 横浜市  | 45%   |    |    |     |     |      |     |     |     |      |     |
| 神奈川県   | 25%   |    |    |     |     |      |     |     |     |      |     |
| 東京都  | 20%   |    |    |     |     |      |     |     |     |      |     |
| 埼玉県他   | 10%   |    |    |     |     |      |     |     |     |      |     |

# 津波の被害予想、対策(1/30ご質問事項2/2)

## ご質問

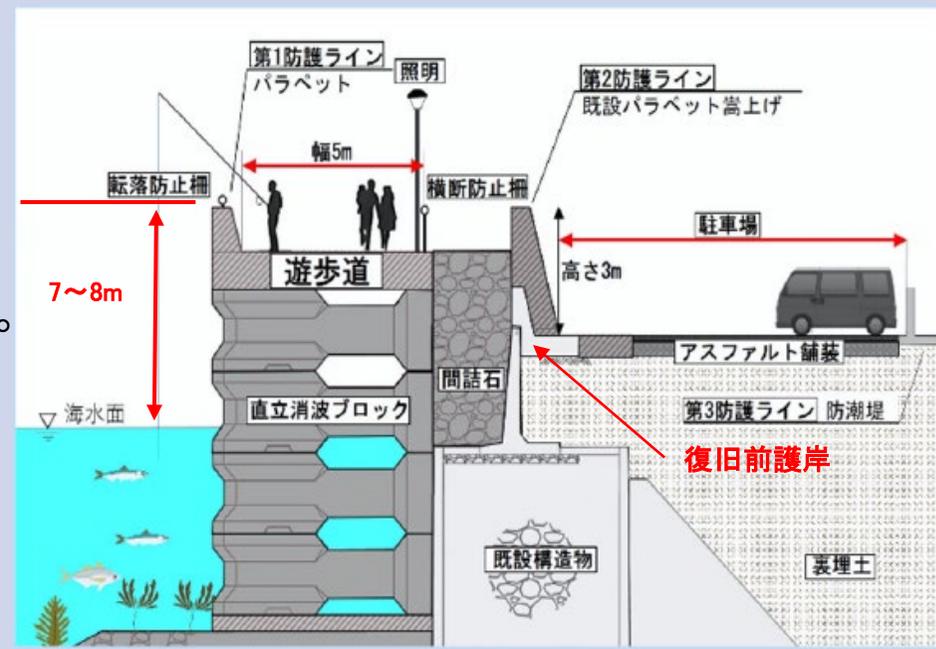
津波の被害予想や対策についてはどう考えているのか

## 回答

- ・令和1年の台風15号で弊社グリーンパーク横浜も受電設備等が約60cm浸水し、約3ヶ月間操業停止。
- ・今回は敷地が狭く、受電設備を保管庫棟の屋根上(FL+10.5m)に設置。

・横浜市は、令和5年に「想定し得る最大の高潮、高波による浸水を防護する高さ3mの護岸」を復旧。今後は高波による浸水は防げると考えています。

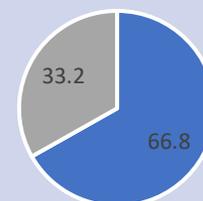
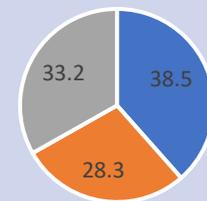
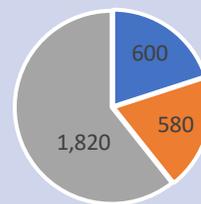
R50419  
横浜市記者発表資料



- ・仮に浸水した場合は、ごみピット内廃棄物の流出防止を図ります。

# 処理する廃棄物の割合(2/6ご質問事項1/3)

| ご質問事項  | 回答   |          |       |              |       |       |  |  |  |
|--|--|----------|-------|--------------|-------|-------|--|--|--|
| <p>主に廃プラスチック類と感染性産業廃棄物を処理することだが、その割合はどのくらいか。</p> | <p>廃プラスチック類と感染性産業廃棄物の処理割合は、廃棄物組成ベースで次のとおりです。</p> |          |       |              |       |       |  |  |  |
|  |  | 廃棄物      |       | 組成重量<br>Kg/h |       | 比率(%) |  |  |  |
|  |  |          |       | 重量           | 低位発熱量 |       |  |  |  |
|  |  | 廃プラスチック類 | 600   | 20.0         | 38.5  | 66.8  |  |  |  |
|  |  | 感染性産業廃棄物 | 580   | 19.3         | 28.3  |       |  |  |  |
|  |  | その他廃棄物   | 1,820 | 60.7         | 33.2  | 33.2  |  |  |  |
|  |  | 計        | 3,000 | 100.0        | 100.0 | 100.0 |  |  |  |



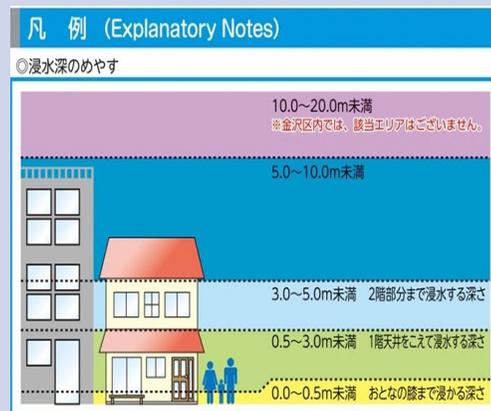
# 高潮・津波による浸水対策について(2/6ご質問事項2/3)

## ご質問

津波や神奈川県  
の最新の高潮浸  
水想定を考慮し  
ているか。  
また、浸水時の対  
策についても教え  
てほしい。

## 回答

●神奈川県金沢区高潮ハザードマップによると、想定最大規模による本計画地の高潮浸水深の目安は、0.5～3.0m未満となっています。



- 令和1年のグリーンパーク横浜の浸水事例を踏まえ、キュービクル等の重要施設に関しては保管庫棟の屋根上に設置。また建物のレベルは、可能な限り高く設定。
- 浸水時には、ごみピットのスチールシャッターを閉じて、ごみピットへの浸水と廃棄物の流出防止を図ります。

# 上水・雨水の年間の運用予測(2/6ご質問事項3/3-1)

| ご質問                                     | 回答  |
|---|---|
| 減温塔の噴射水について、上水・雨水の年間の運用予測はどのようになっているのか。 | <ul style="list-style-type: none"><li>●減温塔噴霧量 = <math>1.3\text{t/h} \times 24\text{h/日} \times 300\text{日/年} = 9,360\text{t/年}</math></li><li>●年間降雨総量 = 1,657.5mm(生活環境影響調査報告書23頁)</li><li>●雨水年間利用計画量 = 年間降雨総量 × 敷地面積 × 寄与率<br/>= <math>1.6575\text{m/年} \times 2,639.9\text{m}^2 \times 90\%</math><br/>= <math>3,938\text{m}^3/\text{年}</math></li><li>●運用予測 = 雨水/噴霧量 = <math>3,938\text{m}^3/9,360\text{m}^3 \doteq 42\%</math></li><li>●水バランスシート = 雨水量(t/h)/噴霧量(t/h) = <math>0.6/1.3 = 46\%</math></li></ul> <p style="text-align: right;">水バランスシートPP13頁</p> |

## 上水・雨水の年間の運用予測(2/6ご質問事項3/3-2)

| ご質問   | 回答   |
|---|--|
| <p>雨水貯留槽300m<sup>3</sup>の根拠は何か、十分な容量となっているか、上水利用が最小になるような設定か。</p> | <p>●計画地に降る雨水のうち、緑地に降る雨は土壤に浸透し、舗装や建屋の一部は雨水本管に直接排水する計画のため、雨水貯留槽に入る雨水量としては、敷地面積2,639.90m<sup>2</sup>の9割程、2,376m<sup>2</sup>の部分に降る雨水と想定しました。</p> <p>●横浜市の過去の平均降水量によると、最も降水量の多い9月の降水量は気象庁のデータによると241.5mmで、1日あたり降水量は241.5mm/30日=8.05mmです。</p> <p>●貯留槽に流れる雨水量は、2,376m<sup>2</sup>×0.00805m≒19.13m<sup>3</sup>、噴射水の雨水は0.6t/h×24h/日=14.4m<sup>3</sup>を利用するため、差し引き4.73m<sup>3</sup>/日の雨水が貯留されます。</p> <p>●2か月間連続運転すると、4.73m<sup>3</sup>/日×60日≒284m<sup>3</sup>の雨水が必要になるため、雨水貯留槽は余裕を見て300m<sup>3</sup>としました。</p> <p>●13頁の水バランスシートによると、プラントで使用した上水のポンプドレン水やボイラブロー水の合計量は0.7t/h、減温塔噴霧水量は1.3t/hのため、不足分0.6t/hを雨水利用量としており、上水利用量が最小になる設定です。</p> |

# 近隣の状況(2/12ご質問事項1/5)

| ご質問 | 回答 |  |  |
|-----|----|--|--|
|-----|----|--|--|

(資料p42)(最終資料p61) No.4の夜間が基準値と同値になっているが、西側には何があるのか？民間企業？近隣の状況について、地図等を用いて詳細を説明して欲しい

| 方向 | 事業者           | 事業内容           | 夜間操業 |
|----|---------------|----------------|------|
| 西側 | 京急サービス(株)     | 建物・植栽管理、植物レンタル | 無し   |
| 北側 | (株)星医療産器      | 福祉・介護予防具貸与     | 無し   |
| 北側 | (株)チューブフォーミング | 金属管の冷間塑性加工     | 現状無し |



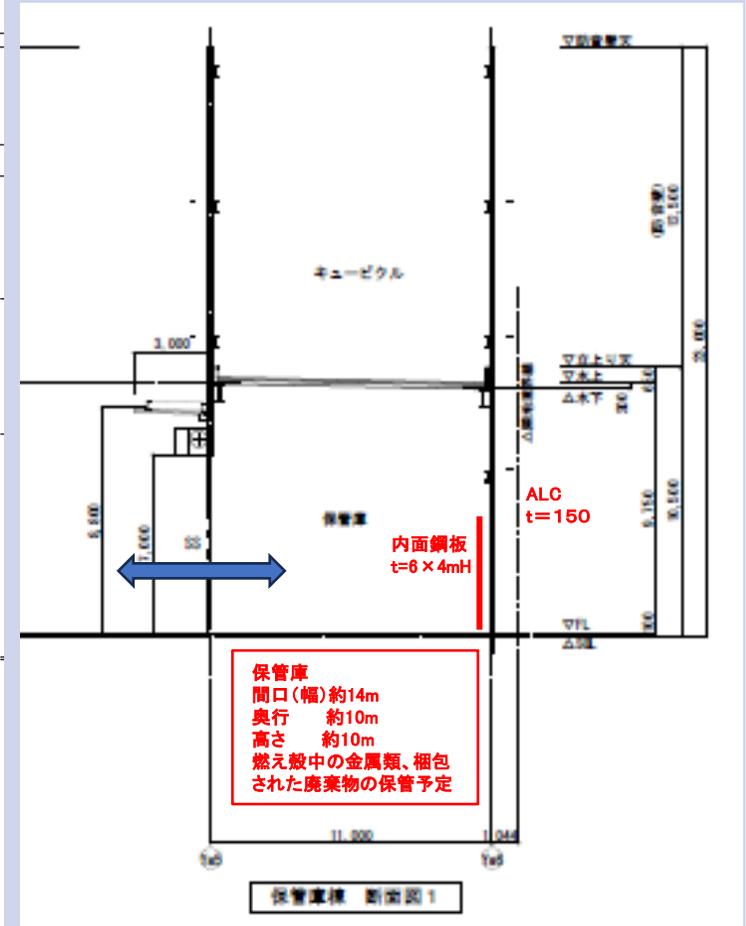
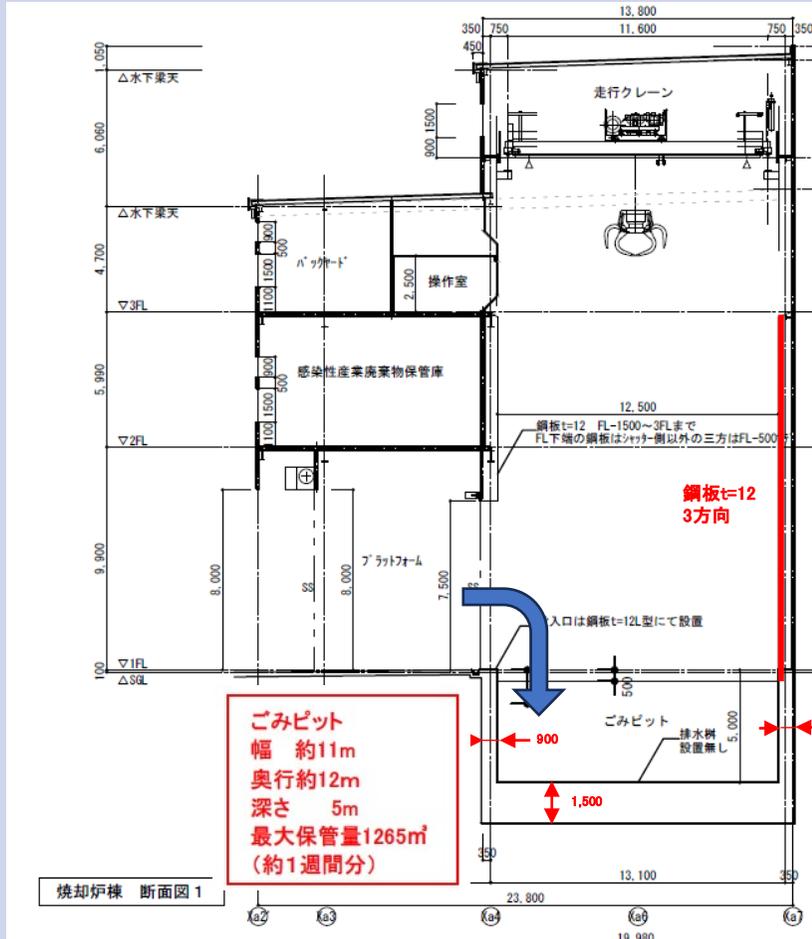
# ごみピットや保管庫の構造、搬入、投入(2/12ご質問事項2/5)

ご質問

(資料p10)ごみピットや保管庫の構造、搬入、投入について図面等を用いて詳細を説明してほしい

回答

- ごみピットへは基本的に搬入車から直接投入、保管庫へはフォークリフトで搬入。
- ごみピット構造:RC造、ピット壁内部鋼板12t(FL-500~3F)
- 保管庫構造 :S造+ALC(t=150)、内部鋼板6t



# 廃液等の保管タンクへの搬入・動線等(2/12ご質問事項(3/5))

## ご質問

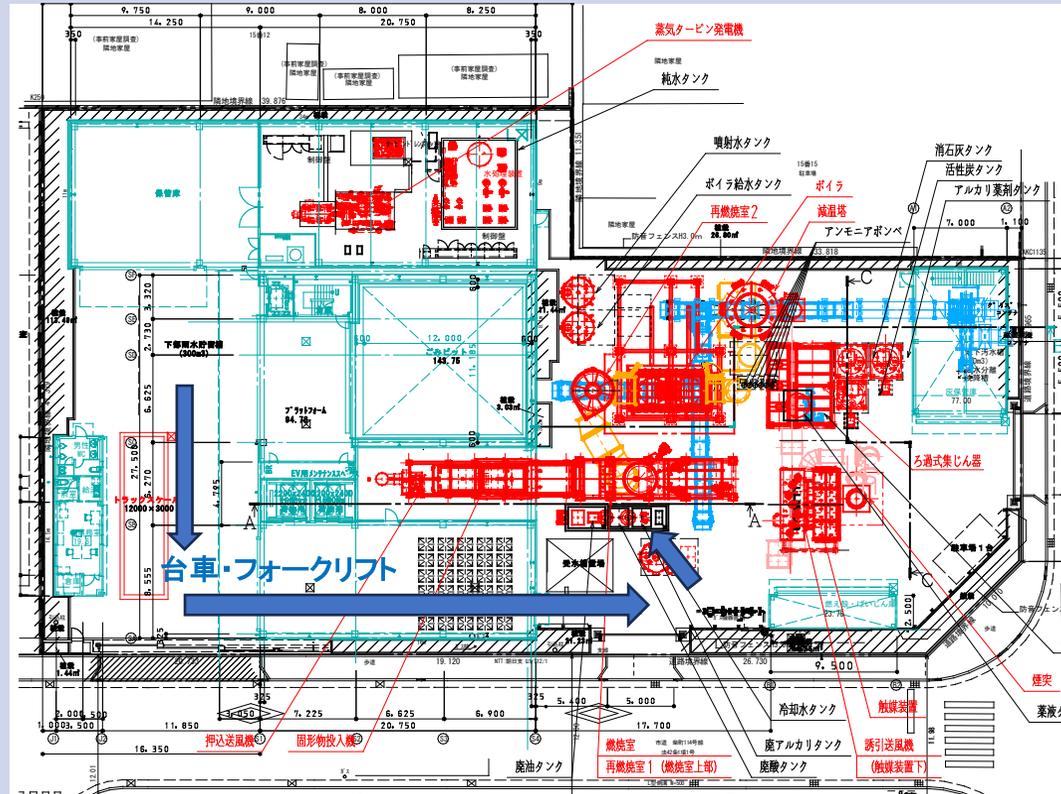
(資料p10,11)廃液等の保管タンクへの搬入もトラックスケールを用いるのか？

動線はどうなっているのか？

構造、搬入、投入について図面等を用いて詳細を説明して欲しい

## 回答

- 廃液等についてもトラックスケールで重量を計量し、台車・フォークリフト等でタンク付近まで移動後、手で投入します。
- 保管容量は廃油:380L、廃酸・廃アルカリ:1KLで、消費・賞味期限の切れた酸性飲料、アルカリ性飲料等を想定しています。



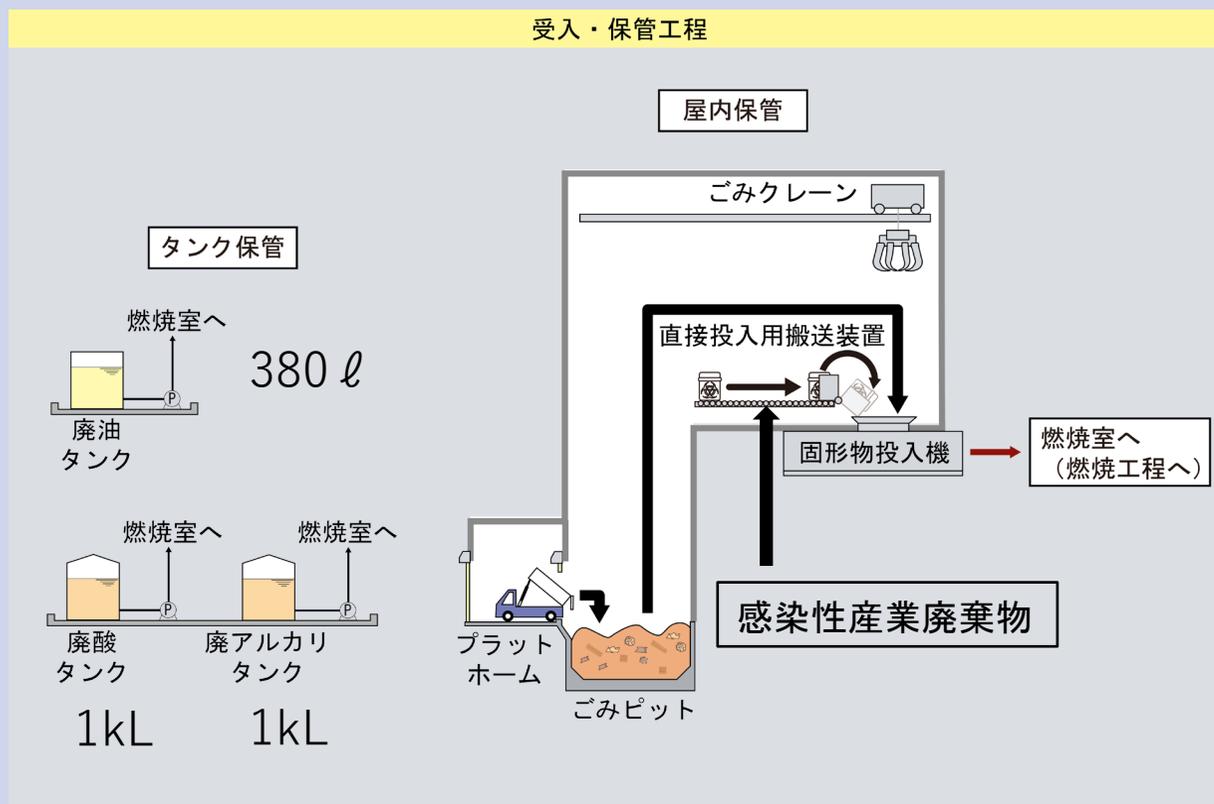
# 保管場所から投入する際の臭気漏洩(2/12ご質問事項(4/5))

## ご質問

(資料p22)ごみピットの臭気については陰圧にして燃焼脱臭するのは分かった。他の品目についても保管場所から投入する際の臭気の漏洩について前2項と合わせて説明して欲しい。

## 回答

- 感染性産業廃棄物は、密閉容器に入れたまま直接投入用搬送装置→固形物投入機→燃焼室へ投入し、臭気の漏洩を防止します。
- 廃油・廃酸・廃アルカリはタンクに保管し、ポンプで燃焼室に圧送噴霧することにより臭気の漏洩を防止します。



# 日常点検の内容(2/12ご質問事項5/5)

## ご質問

日常点検の内容に関する説明を追加して欲しい

## 回答

●日常点検とは法定点検以外の点検を示し、各設備項目に対して毎日・1週間・1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月・1年毎に点検実施の有無を計画します。例えばボイラの点検実施項目・時期は次のとおりです。

### 点検チェックリスト

2024/9/27

作成:株式会社アクトリー

(運転中○ 停止中●)

| 設備区分                       | 点検箇所         | 点検項目                   | 点検時期 |     |     |     |     |    |        |
|----------------------------|--------------|------------------------|------|-----|-----|-----|-----|----|--------|
|                            |              |                        | 毎日   | 1週間 | 1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | その他の期間 |
| 余熱利用設備                     | ボイラ          | 水位                     | ○    |     |     |     |     |    |        |
|                            |              | 運転圧力                   | ○    |     |     |     |     |    |        |
|                            |              | 蒸気漏れの有無                | ○    |     |     |     |     |    |        |
|                            |              | 保温・ケーシングの腐食の有無         | ○    |     |     |     |     |    |        |
|                            |              | 耐火物の損傷、脱落の確認           |      |     | ●   |     |     |    |        |
|                            |              | 内部清掃                   |      |     | ●   |     |     |    |        |
|                            |              | 年次点検                   |      |     |     |     |     | ●  |        |
|                            |              | 法定点検                   |      |     |     |     |     |    | ●2年毎   |
|                            | 安全弁          | 蒸気漏れの有無                | ○    |     |     |     |     |    |        |
|                            |              | 外観検査                   | ○    |     |     |     |     |    |        |
|                            | 主要配管         | 整備、検査                  |      |     |     |     |     | ●  |        |
|                            |              | 支持金具類の異常の有無            | ○    |     |     |     |     |    |        |
|                            | 主要弁          | 配管からの蒸気の漏洩の有無          | ○    |     |     |     |     |    |        |
|                            |              | 配管の振動の有無               | ○    |     |     |     |     |    |        |
|                            | スートブロワ       | 弁体の振動、異音の有無            | ○    |     |     |     |     |    |        |
|                            |              | 弁のグランド部・シートからの蒸気の漏洩の有無 | ○    |     |     |     |     |    |        |
|                            |              | 作動源の異常の有無              | ○    |     |     |     |     |    |        |
|                            |              | 蒸気漏れの有無                | ○    |     |     |     |     |    |        |
|                            |              | 作動状況の確認                | ○    |     |     |     |     |    |        |
|                            |              | 給油状況確認(オイルレベル確認)       | ○    |     |     |     |     |    |        |
|                            |              | スチームトラップの動作確認          | ○    |     |     |     |     |    |        |
|                            |              | 噴射圧力確認                 | ○    |     |     |     |     |    |        |
|                            | スートブロワシールファン | ウォールボックスのガス漏れの有無       | ○    |     |     |     |     |    |        |
| アウターチューブの曲がり摩耗、腐食の有無       |              | ○                      |      |     |     |     |     |    |        |
| 年次点検                       |              |                        |      |     |     |     | ●   |    |        |
| 異音、振動、発熱の有無<br>摩耗、腐食がないか確認 |              | ○                      |      | ●   |     |     |     |    |        |

設置許可  
申請書15-02

# 日常点検項目例

別紙-3

アイテック グリーンパーク横浜

ボイラ 点検・巡視記録

| 責任者 | 1直 |     | 2直 |     |
|-----|----|-----|----|-----|
|     | 班長 | 点検者 | 班長 | 点検者 |
|     |    |     |    |     |

|                |       |    |             |     |
|----------------|-------|----|-------------|-----|
| 年 月 日 ( ) 時間 : | 発電機出力 | KW | 2019年4月1日制定 | 1/3 |
| 年 月 日 ( ) 時間 : | 発電機出力 | KW | 別紙2-3       |     |

| 点検項目                    | 単位   | 基準値/場所 |          | 1直  |     | 2直  |     | 処置対応 |
|-------------------------|------|--------|----------|-----|-----|-----|-----|------|
|                         |      |        |          | 記録値 | 判定  | 記録値 | 判定  |      |
| ボイラ給水タンク温度              | ℃    | -      | 現        |     | 良・否 |     | 良・否 |      |
| ボイラ給水ポンプ<br>(No.1 No.2) | 吐出圧力 | Mpa    | 3.3      | 現   | 良・否 |     | 良・否 |      |
|                         | 吐出流量 | kg/h   | 11400    | 中   | 良・否 |     | 良・否 |      |
| ボイラ給水流量調節弁              | %    | 0~60   | 現        |     | 良・否 |     | 良・否 |      |
| 蒸気圧力調節弁                 | %    | 30~60  | 現        |     | 良・否 |     | 良・否 |      |
| ドラム圧力                   | Mpa  | 2.3    | 中        |     | 良・否 |     | 良・否 |      |
| ドラム水位・水面計ブロー            | mm   | ±100   | 現        |     | 良・否 |     | 良・否 |      |
| ボイラ水質<br>連続ブロー装置        | PH   |        | 9.4~10.5 | 現   | 良・否 |     | 良・否 |      |
|                         | 電導度  | ms/m   | 80       | 現   | 良・否 |     | 良・否 |      |
|                         | 温度   | ℃      | 40       | 現   | 良・否 |     | 良・否 |      |
|                         | 流量   | L/H    | 200      | 現   | 良・否 |     | 良・否 |      |
| 純水移送ポンプ<br>(No.1 No.2)  | 吐出圧力 | kPa    |          | 現   | 良・否 |     | 良・否 |      |
|                         | 電流   | A      |          | 中   | 良・否 |     | 良・否 |      |

・停止中機器は、記録値・判定欄に斜線を記入する。 現・現場 中・中央監視操作盤

・純水移送ポンプについては、運転側ナンバーにO印を記入する。

| 巡視項目        | 巡視方法              | 巡視内容           | 1直             | 2直  | 処置対応 |            |
|-------------|-------------------|----------------|----------------|-----|------|------------|
|             |                   |                | 判定             | 判定  |      |            |
| ドラム安全弁 No.1 | 目視・聴音・触診          | シートの漏洩・腐食      | 良・否            | 良・否 |      |            |
| ドラム安全弁 No.2 | 目視・聴音・触診          | シートの漏洩・腐食      | 良・否            | 良・否 |      |            |
| サイレンサー      | 目視・聴音・触診          | 漏洩・振動・異音・ボルト緩み | 良・否            | 良・否 |      |            |
| ドラム・水面計・脱気器 | 目視・聴音・触診          | 漏洩・振動・異音       | 良・否            | 良・否 |      |            |
| スートブロー No.1 | 目視・聴音・触診          | 漏洩・振動・異音       | 良・否            | 良・否 |      |            |
| スートブロー No.2 | 目視・聴音・触診          | 漏洩・振動・異音       | 良・否            | 良・否 |      |            |
| スートブロー No.3 | 目視・聴音・触診          | 漏洩・振動・異音       | 良・否            | 良・否 |      |            |
| スートブロー No.4 | 目視・聴音・触診          | 漏洩・振動・異音       | 良・否            | 良・否 |      |            |
| ボイラ本体各部     | 給水配管              | 目視・聴音・触診       | 漏洩・振動・異音・ボルト緩み | 良・否 | 良・否  |            |
|             | 蒸気配管              | 目視・聴音・触診       | 漏洩・振動・異音・ボルト緩み | 良・否 | 良・否  |            |
|             | 制御弁               | 目視・聴音・触診       | 漏洩・振動・異音・ボルト緩み | 良・否 | 良・否  |            |
|             | 付属配管              | 目視・聴音・触診       | 漏洩・振動・異音・ボルト緩み | 良・否 | 良・否  |            |
|             | ケーシング             | 目視・聴音・触診       | 漏洩・振動・異音・ボルト緩み | 良・否 | 良・否  |            |
| 手摺・歩廊       | 目視・触診             | 腐食劣化           | 良・否            | 良・否 |      |            |
| 給水          | タンク               | 目視・聴音・触診       | 漏洩・振動・異音       | 良・否 | 良・否  |            |
|             | ポンプ               | 目視・聴音・触診       | 漏洩・振動・異音・過熱    | 良・否 | 良・否  |            |
| 純水装置        | タンク               | 目視・聴音・触診       | 漏洩・振動・異音       | 良・否 | 良・否  |            |
|             | 移送ポンプ             | 目視・聴音・触診       | 漏洩・振動・異音・過熱    | 良・否 | 良・否  |            |
|             | インヒビタータンクレベル/吐出圧力 |                | ℓ/Mpa          | /   | /    | 圧力1.0Mpa管理 |
|             | クーリングタワー薬液レベル     |                | ℓ              |     |      |            |
| 清缶剤注入装置     | 配管                | 目視・聴音・触診       | 漏洩・振動・異音・ボルト緩み | 良・否 | 良・否  |            |
|             | タンク               | 目視・聴音・触診       | 漏洩・振動・異音       | 良・否 | 良・否  |            |
|             | 残量                |                | ℓ              |     |      |            |
| 脱酸剤注入装置     | 注入ポンプ             | 目視・聴音・触診       | 漏洩・振動・異音・過熱    | 良・否 | 良・否  |            |
|             | 吐出圧力              |                | Mpa            |     |      |            |
|             | 配管                | 目視・聴音・触診       | 漏洩・振動・異音・ボルト緩み | 良・否 | 良・否  |            |
| 脱酸剤注入装置     | タンク               | 目視・聴音・触診       | 漏洩・振動・異音       | 良・否 | 良・否  |            |
|             | 残量                |                | ℓ              |     |      |            |
|             | 注入ポンプ             | 目視・聴音・触診       | 漏洩・振動・異音・過熱    | 良・否 | 良・否  |            |
| 配管          | 目視・聴音・触診          | 漏洩・振動・異音・ボルト緩み | 良・否            | 良・否 |      |            |

・処置対応は、処置時のみ記入する。

特記事項

# 生活環境影響調査 調査項目の選定

| 調査事項 |     | 生活環境影響要因                           | 煙突排ガスの排出 | 施設排水の排出 | 施設の稼働 | 施設からの悪臭の漏洩 | 廃棄物運搬車両の走行 |
|------|-----|------------------------------------|----------|---------|-------|------------|------------|
|      |     | 生活環境影響調査項目                         |          |         |       |            |            |
| 大気環境 | 大気質 | 二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> )            | ◎        |         |       |            |            |
|      |     | 二酸化窒素(NO <sub>2</sub> )            | ◎        |         |       |            | ○          |
|      |     | 浮遊粒子状物質(SPM)                       | ◎        |         |       |            | ○          |
|      |     | 塩化水素(HCl)                          | ◎        |         |       |            |            |
|      |     | ダイオキシン類                            | ◎        |         |       |            |            |
|      |     | その他必要な項目                           | ◎        |         |       |            |            |
|      | 騒音  | 騒音レベル                              |          |         | ◎     |            | ○          |
|      | 振動  | 振動レベル                              |          |         | ◎     |            | ○          |
|      | 悪臭  | 特定悪臭物質濃度<br>または臭気指数(臭気濃度)          | ◎        |         |       | ◎          |            |
| 水環境  | 水質  | 生物化学的酸素要求量(BOD)<br>又は化学的酸素要求量(COD) |          | ○       |       |            |            |
|      |     | 浮遊物質(SS)                           |          | ○       |       |            |            |
|      |     | ダイオキシン類                            |          | ○       |       |            |            |
|      |     | その他必要な項目                           |          | ○       |       |            |            |

出典) 「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」(平成18年9月 環境省)

※「煙突排ガスの排出」は焼却施設に関する調査項目

○：生活環境影響項目

◎：本調査で選定した項目

# 生活環境影響調査除外項目・理由

| 調査事項 |     | 調査除外理由  |
|------|-----|---|
| 大気環境 | 大気質 | <p>【廃棄物運搬車両の走行】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運搬車両の最大発生台数は往復124台/日、運搬車両が集中する国道357号における交通量30,528台/12時間(平成27年度全国道路・街路交通情勢調査)の0.5%未満</li> <li>・当該施設への主な搬出入路において実施した交通量調査結果から求めた発生寄与率は1.7~6.0%未満と小さい</li> <li>・計画地から国道357号までの搬出入ルート上には一般住居が存在しないため、運搬車両の走行による大気汚染への影響については除外</li> </ul> |
|      | 騒音  | <p>【廃棄物運搬車両の走行】</p> <p>運搬車両の走行による騒音への影響については大気質同様除外</p>   |
|      | 振動  | <p>【廃棄物運搬車両の走行】</p> <p>運搬車両の走行による振動への影響については大気質同様除外</p>   |
| 水環境  | 水質  | 公共用水域への施設排水が無いため除外  |

# 大気質予測

| 予測手法 | 長期濃度予測<br>(年平均値)                           | 短期濃度予測<br>(1時間値)                  |
|------|--|-----------------------------------|
| 予測項目 | 二酸化硫黄<br>二酸化窒素<br>浮遊粒子状物質<br>水銀<br>ダイオキシン類 | 二酸化硫黄<br>二酸化窒素<br>浮遊粒子状物質<br>塩化水素 |

計画地に近い一般環境大気測定局(長浜測定局)の測定結果を基に、パラメータやバックグラウンド濃度を設定

## 煙突排ガス条件(排ガス緒元)

|               |          |                            |
|---------------|----------|----------------------------|
|               | 煙突高さ     | 35m                        |
|               | 排ガス量(湿り) | 32,636m <sup>3</sup> N/h   |
|               | 排ガス温度    | 182°C                      |
|               | 排ガス速度    | 22.73m/s                   |
|               | 煙突口径     | 0.92m                      |
| 協定値<br>(達成数値) | 硫黄酸化物    | 40ppm                      |
|               | 窒素酸化物    | 60ppm                      |
|               | ばいじん     | 0.02g/m <sup>3</sup> N     |
|               | 塩化水素     | 28ppm                      |
|               | 水銀       | 30μg-Hg/m <sup>3</sup> N   |
|               | ダイオキシン類  | 0.1ng-TEQ/m <sup>3</sup> N |

# 煙突排ガス条件時の廃棄物組成と発熱量

## ○廃棄物組成

| 原料名              | kg/h  | C(炭素)  | H(水素)  | O(酸素)  | N(窒素)  | S(硫黄)  | Cl(塩素) | 水分     | 灰分     | 低位発熱量<br>kJ/kg | 低位発熱量<br>kcal/kg |
|------------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|------------------|
| 燃え殻              | 10    | 0.5733 | 0.0210 | 0.0952 | 0.0007 | 0.0000 | 0.0000 | 0.3000 | 0.0098 | 20,052         | 4,790            |
| 汚泥               | 100   | 0.0379 | 0.0046 | 0.0271 | 0.0041 | 0.0009 | 0.0004 | 0.8500 | 0.0750 | -615           | -147             |
| 廃油               | 50    | 0.4312 | 0.0490 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0049 | 0.0049 | 0.5000 | 0.0100 | 19,417         | 4,639            |
| 廃酸・廃アルカリ         | 160   | 0.0170 | 0.0020 | 0.0004 | 0.0002 | 0.0002 | 0.0002 | 0.9300 | 0.0500 | -1,507         | -360             |
| 廃プラスチック類         | 600   | 0.6100 | 0.1021 | 0.0505 | 0.0052 | 0.0007 | 0.0333 | 0.1426 | 0.0556 | 32,170         | 7,685            |
| 紙くず              | 400   | 0.3880 | 0.0520 | 0.3520 | 0.0040 | 0.0008 | 0.0032 | 0.1500 | 0.0500 | 14,641         | 3,498            |
| 木くず              | 400   | 0.3880 | 0.0520 | 0.3520 | 0.0040 | 0.0008 | 0.0032 | 0.1500 | 0.0500 | 14,641         | 3,498            |
| 繊維くず             | 140   | 0.4444 | 0.0622 | 0.4934 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 16,356         | 3,907            |
| 動植物性残さ           | 400   | 0.0933 | 0.0125 | 0.0855 | 0.0066 | 0.0002 | 0.0004 | 0.6870 | 0.1145 | 1,882          | 450              |
| 動物系固形不要物         | 40    | 0.1192 | 0.0165 | 0.0438 | 0.0274 | 0.0031 | 0.0000 | 0.7500 | 0.0400 | 3,656          | 873              |
| ゴムくず             | 20    | 0.8816 | 0.1184 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 44,373         | 10,600           |
| 金属くず             | 40    | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 1.0000 | 0              | 0                |
| ガラス・コンクリート・陶磁器くず | 35    | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 1.0000 | 0              | 0                |
| がれき類             | 25    | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 1.0000 | 0              | 0                |
| 感染性産業廃棄物         | 580   | 0.4841 | 0.0782 | 0.1117 | 0.0036 | 0.0005 | 0.0215 | 0.0242 | 0.2762 | 24,490         | 5,850            |
| 合 計              | 3,000 | 0.3710 | 0.0561 | 0.1618 | 0.0042 | 0.0006 | 0.0118 | 0.2621 | 0.1324 | 16,718         | 3,994            |

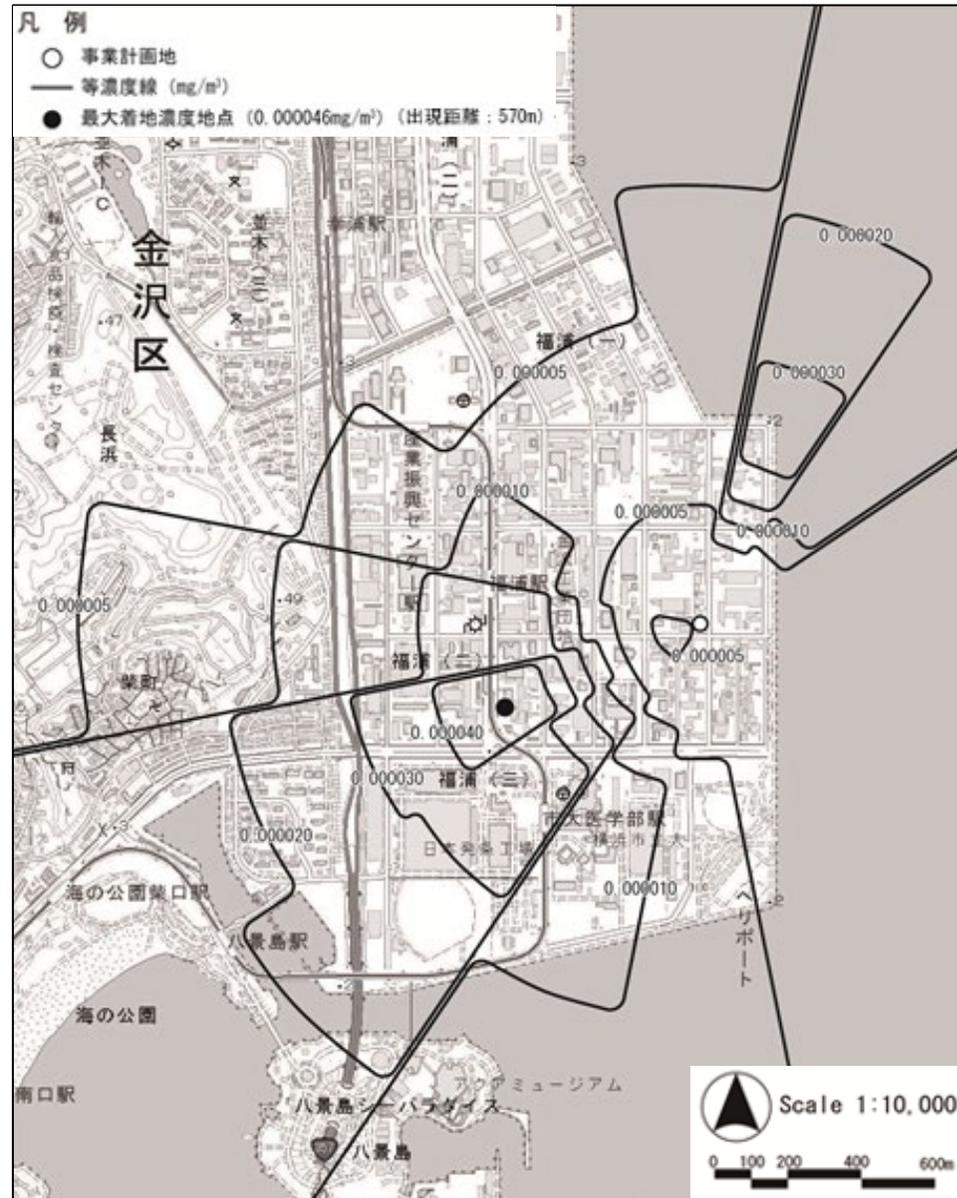
## ○燃焼室投入物組成

| 原料名       | kg/h  | C(炭素)  | H(水素)  | O(酸素)  | N(窒素)  | S(硫黄)  | Cl(塩素) | 水分     | 灰分     | 低位発熱量<br>kJ/kg | 低位発熱量<br>kcal/kg |
|-----------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|------------------|
| 廃棄物       | 3,000 | 0.3710 | 0.0561 | 0.1618 | 0.0042 | 0.0006 | 0.0118 | 0.2621 | 0.1324 | 16,718         | 3,994            |
| 都市ガス(13A) |       | 0.7635 | 0.2365 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 0.0000 | 49,694         | 11,871           |
| 合 計       | 3,000 | 0.3710 | 0.0561 | 0.1618 | 0.0042 | 0.0006 | 0.0118 | 0.2621 | 0.1324 | 16,718         | 3,994            |

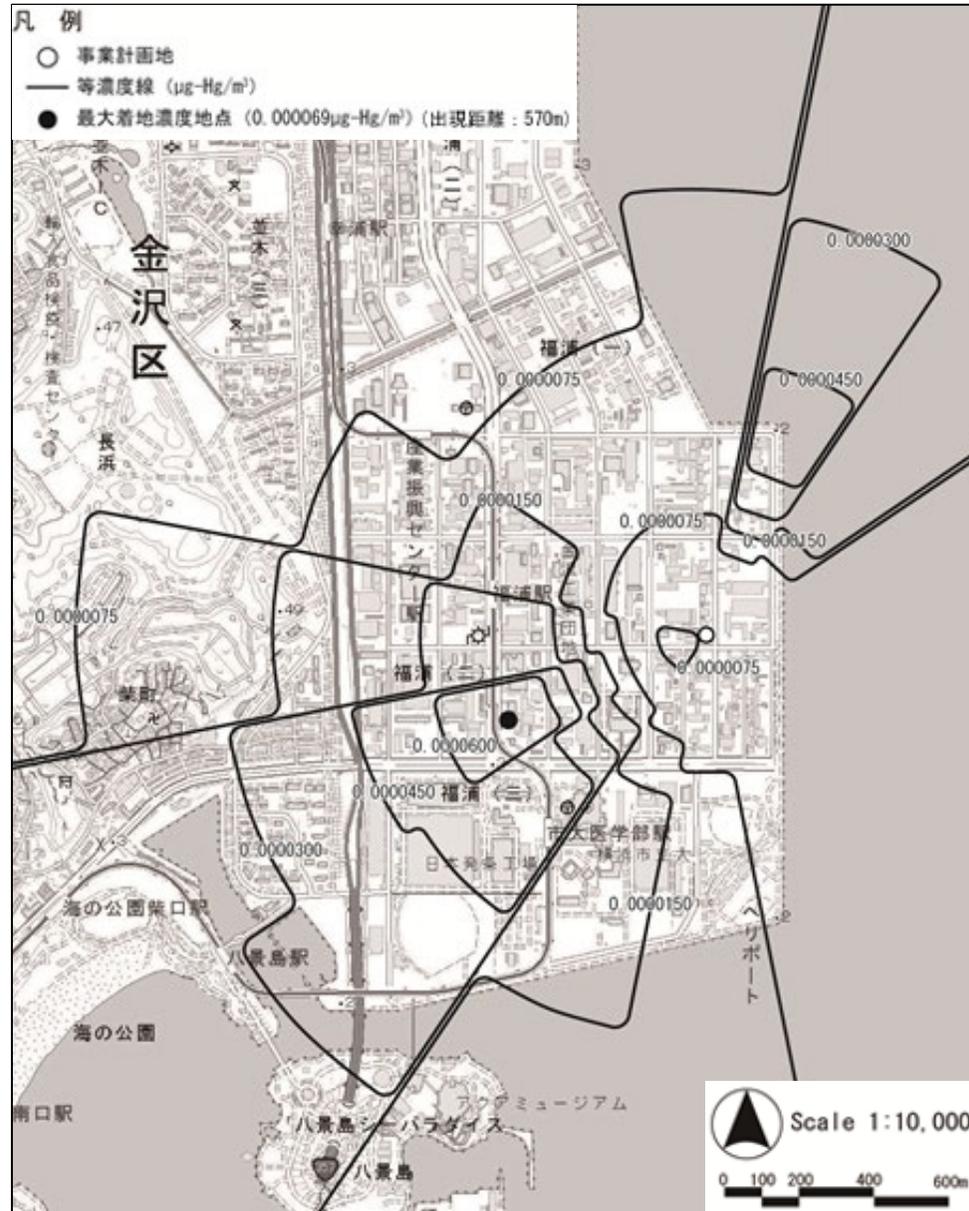




# 大気質長期予測結果(浮遊粒子状物質)



# 大気質長期予測結果(水銀)





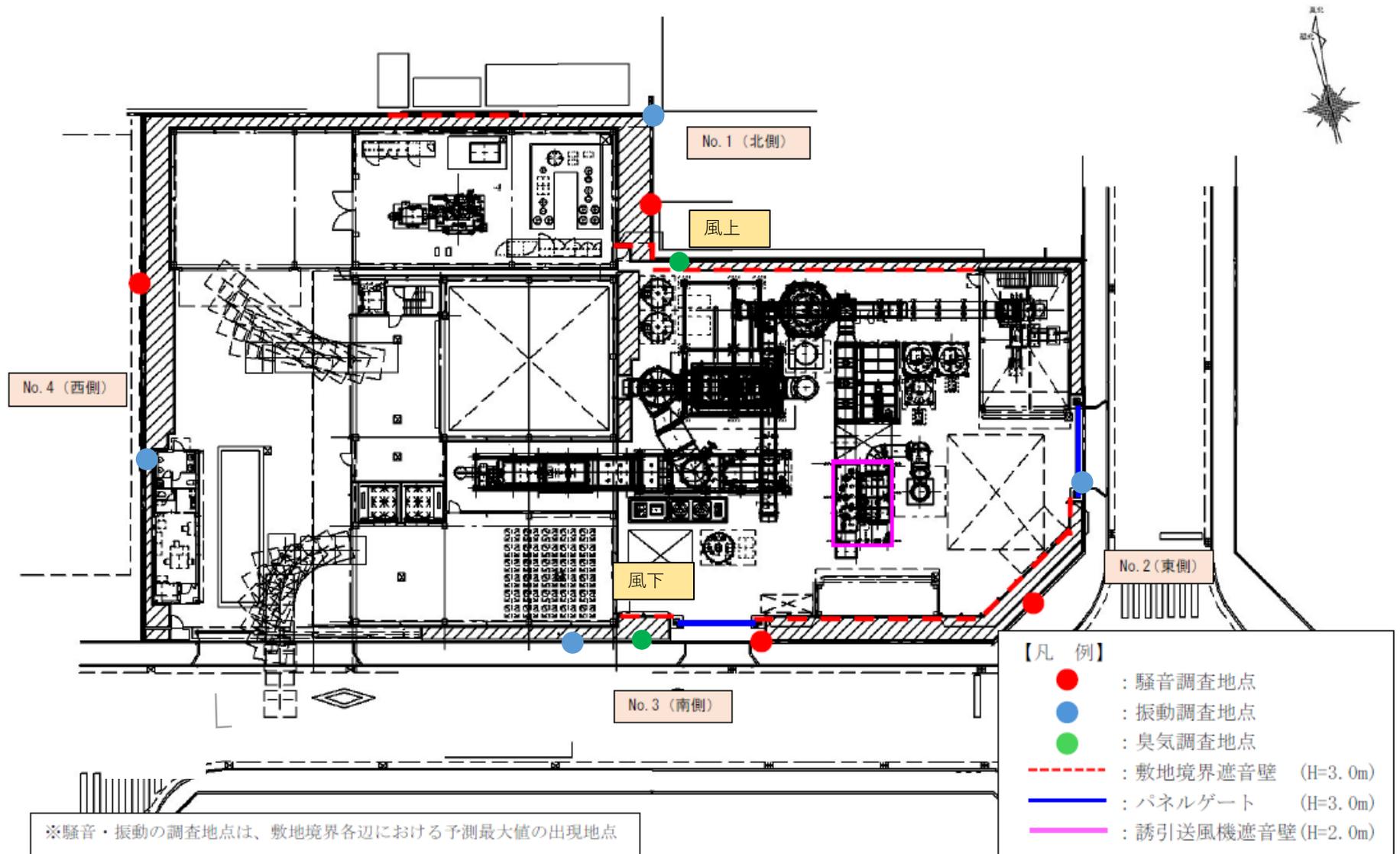
# 大気長期濃度予測結果

| 項目                                  | 最大着地濃度   | バックグラウンド濃度 | 予測結果   | 日平均値の年間98%値又は年間2%除外値 | 評価基準   | 適否 |
|-------------------------------------|----------|------------|--------|----------------------|--------|----|
| 二酸化硫黄<br>(ppm)                      | 0.000093 | 0.002      | 0.0021 | 0.004                | 0.04以下 | ○  |
| 二酸化窒素<br>(ppm)                      | 0.000033 | 0.011      | 0.0110 | 0.027                | 0.06以下 | ○  |
| 浮遊粒子状物質<br>(mg/m <sup>3</sup> )     | 0.000046 | 0.017      | 0.0170 | 0.045                | 0.10以下 | ○  |
| 水銀<br>(μg/m <sup>3</sup> )          | 0.000069 | 0.0019     | 0.0020 | —                    | 0.04以下 | ○  |
| ダイオキシン類<br>(pg-TEQ/m <sup>3</sup> ) | 0.000232 | 0.011      | 0.0112 | —                    | 0.6以下  | ○  |

# 大氣短期濃度予測結果

| 項目                               | 予測方法    | 最大着地濃度出現距離(m) | 予測結果    | 基準値等                 | 適否 |
|----------------------------------|---------|---------------|---------|----------------------|----|
| 二酸化硫黄<br>ppm                     | 有効煙突高   | 550           | 0.0016  | 0.1ppm               | ○  |
|                                  | 有煙+DW   | 460           | 0.0024  |                      |    |
|                                  | 逆転層(有風) | 470           | 0.0049  |                      |    |
|                                  | 逆転層(無風) | 40            | 0.019   |                      |    |
|                                  | 逆転層崩壊   | 100           | 0.0074  |                      |    |
| 二酸化窒素<br>ppm                     | 有効煙突高   | 570           | 0.00062 | 0.1~0.2ppm           | ○  |
|                                  | 有煙+DW   | 480           | 0.00088 |                      |    |
|                                  | 逆転層(有風) | 490           | 0.0018  |                      |    |
|                                  | 逆転層(無風) | 40            | 0.0050  |                      |    |
|                                  | 逆転層崩壊   | 540           | 0.0024  |                      |    |
| 浮遊粒子状<br>物質<br>mg/m <sup>3</sup> | 有効煙突高   | 550           | 0.00082 | 0.2mg/m <sup>3</sup> | ○  |
|                                  | 有煙+DW   | 460           | 0.0012  |                      |    |
|                                  | 逆転層(有風) | 470           | 0.0024  |                      |    |
|                                  | 逆転層(無風) | 40            | 0.0097  |                      |    |
|                                  | 逆転層崩壊   | 100           | 0.0037  |                      |    |
| 塩化水素<br>ppm                      | 有効煙突高   | 550           | 0.0012  | 0.02ppm              | ○  |
|                                  | 有煙+DW   | 460           | 0.0018  |                      |    |
|                                  | 逆転層(有風) | 470           | 0.0035  |                      |    |
|                                  | 逆転層(無風) | 40            | 0.014   |                      |    |
|                                  | 逆転層崩壊   | 100           | 0.0053  |                      |    |

# 騒音・振動・臭気調査地点位置図



# 現況調査と環境(規制)基準との比較

## 騒音測定結果総括表 (L<sub>5</sub>値)

単位：d B (A)

| 時間区分 | 時間      | No.1 | No.2 | No.3 | No.4 | 規制基準値 | 適否 |
|------|---------|------|------|------|------|-------|----|
| 朝    | 6～8時    | 43   | 45   | 47   | 45   | 65    | ○  |
| 昼間   | 8時～18時  | 48   | 50   | 50   | 48   | 70    | ○  |
| 夕    | 18時～23時 | 45   | 43   | 42   | 44   | 65    | ○  |
| 夜間   | 23時～6時  | 42   | 40   | 42   | 44   | 55    | ○  |

※ 表中の測定値は各時間区分におけるL<sub>5</sub>の平均値

## 振動測定結果総括表 (L<sub>10</sub>値)

単位：d B

| 時間区分 | 時間     | No.1 | No.2 | No.3 | No.4 | 規制基準値 | 適否 |
|------|--------|------|------|------|------|-------|----|
| 昼間   | 8時～19時 | 37   | 30   | 28   | 36   | 70    | ○  |
| 夜間   | 19時～8時 | 25未満 | 25未満 | 25未満 | 25未満 | 60    | ○  |

※ 表中の測定値は各時間区分におけるL<sub>10</sub>の値の平均値

## 臭気指数測定結果総括表

| 測定地点 | 測定結果 | 風向  | 風速(m/s) | 規制基準 | 適否 |
|------|------|-----|---------|------|----|
| 風上   | 10未満 | 南南東 | 2.7     | 15   | ○  |
| 風下   | 10未満 | 南   | 2.5     | 15   | ○  |

# 騒音予測

## 【予測方法】

音の伝搬理論に基づくモデルによる騒音シミュレーション

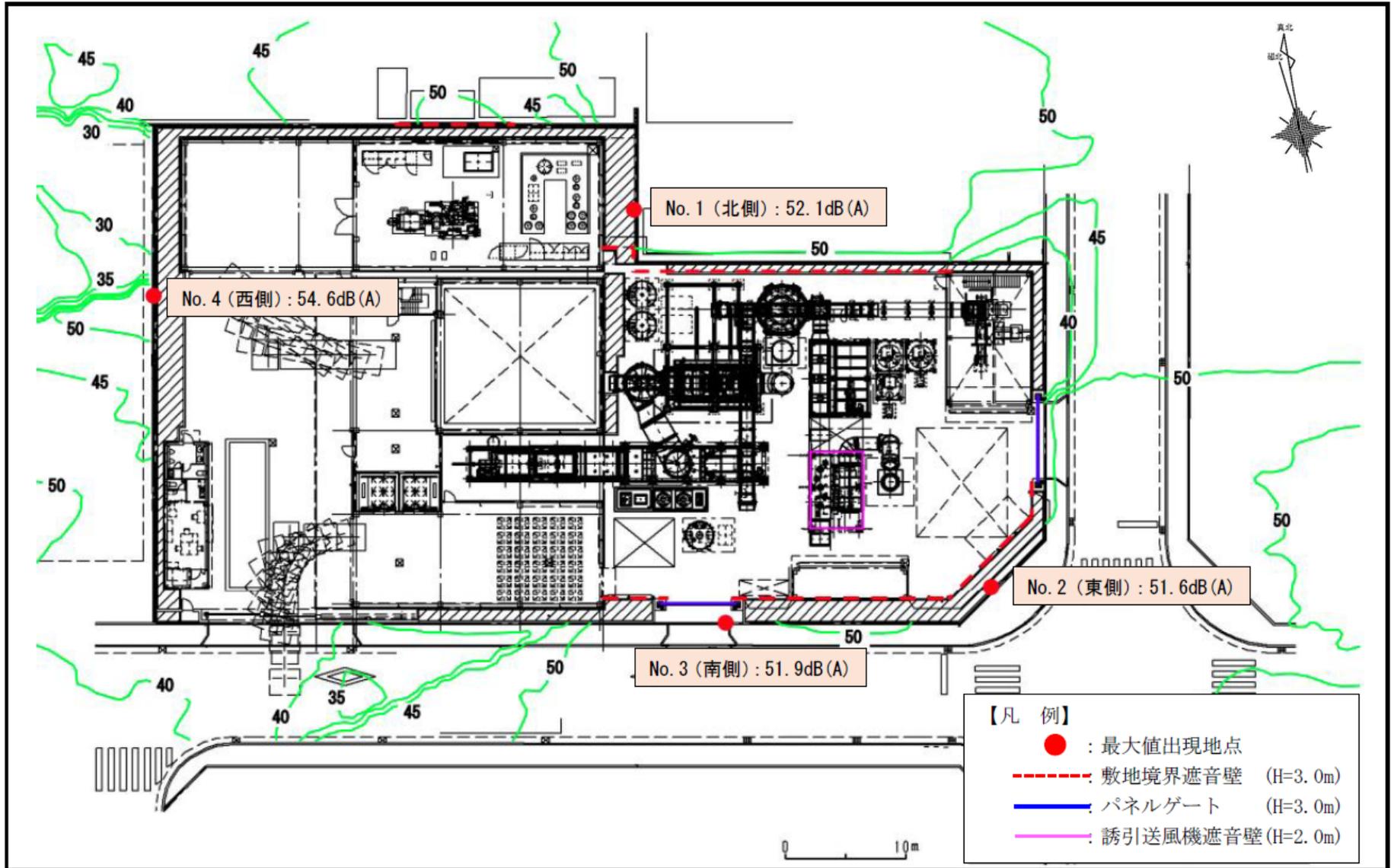
### 騒音予測ソフト

工場・事業所業務ビル・建設機械騒音予測システム  
Super NOISE(P)

(株)環境総合研究所

※回折減衰、透過損失なども反映

# 騒音予測結果(コンター図)



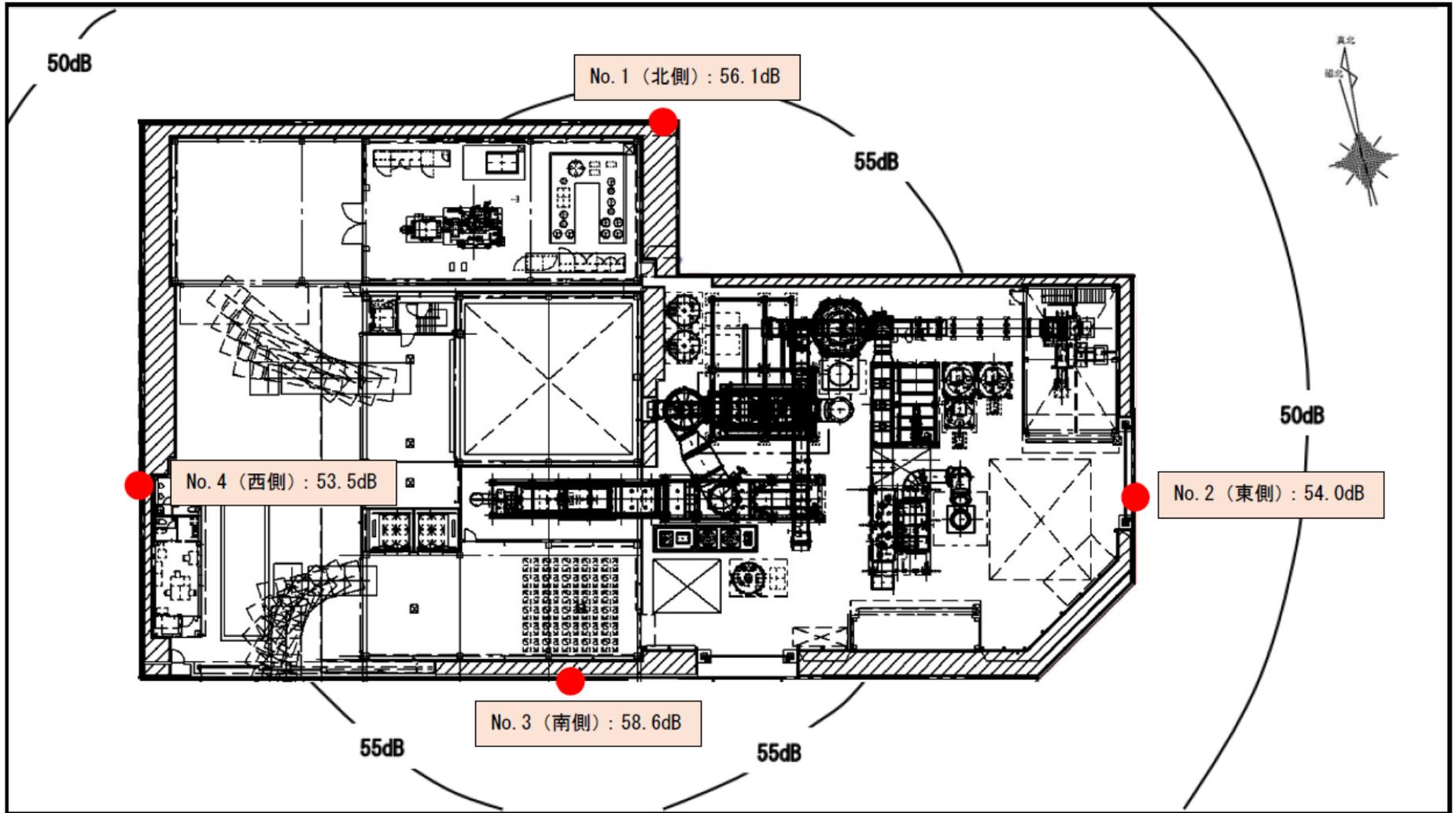
# 騒音予測結果

## 【騒音合成結果】

単位：dB(A)

| 予測地点 | 時間区分 | 現況騒音レベル | 将来到達レベル | 合成結果 | 規制基準 | 適否 |
|------|------|---------|---------|------|------|----|
| No.1 | 朝    | 43      | 52.1    | 52.6 | 65   | ○  |
|      | 昼間   | 48      |         | 53.5 | 70   | ○  |
|      | 夕    | 45      |         | 52.9 | 65   | ○  |
|      | 夜間   | 42      |         | 52.5 | 55   | ○  |
| No.2 | 朝    | 45      | 51.6    | 52.5 | 65   | ○  |
|      | 昼間   | 50      |         | 53.9 | 70   | ○  |
|      | 夕    | 43      |         | 52.2 | 65   | ○  |
|      | 夜間   | 40      |         | 51.9 | 55   | ○  |
| No.3 | 朝    | 47      | 51.9    | 53.1 | 65   | ○  |
|      | 昼間   | 50      |         | 54.1 | 70   | ○  |
|      | 夕    | 42      |         | 52.3 | 65   | ○  |
|      | 夜間   | 42      |         | 52.3 | 55   | ○  |
| No.4 | 朝    | 45      | 54.6    | 55.1 | 65   | ○  |
|      | 昼間   | 48      |         | 55.5 | 70   | ○  |
|      | 夕    | 44      |         | 55.0 | 65   | ○  |
|      | 夜間   | 44      |         | 55.0 | 55   | ○  |

# 振動予測結果(コンター図)



# 振動予測結果

## 【振動合成結果】

単位：dB

| 予測地点 | 時間区分 | 現況振動レベル | 将来到達レベル | 合成結果 | 規制基準 | 適否 |
|------|------|---------|---------|------|------|----|
| No.1 | 昼間   | 37      | 56.1    | 56.2 | 70   | ○  |
|      | 夜間   | 25      |         | 56.1 | 60   | ○  |
| No.2 | 昼間   | 30      | 54.0    | 54.0 | 70   | ○  |
|      | 夜間   | 25      |         | 54.0 | 60   | ○  |
| No.3 | 昼間   | 28      | 58.6    | 58.6 | 70   | ○  |
|      | 夜間   | 25      |         | 58.6 | 60   | ○  |
| No.4 | 昼間   | 36      | 53.5    | 53.6 | 70   | ○  |
|      | 夜間   | 25      |         | 53.5 | 60   | ○  |

# 悪臭予測結果

## ○建屋から漏洩する悪臭 【類似施設の臭気指数】

| 測定地点          | 測定結果 | 気温   | 湿度 | 規制基準 | 適否 |
|---------------|------|------|----|------|----|
| グリーンパーク横浜(風上) | 10未満 | 32.8 | 53 | 15   | ○  |
| グリーンパーク横浜(風下) | 10未満 | 32.8 | 53 | 15   | ○  |

## ○煙突から排出される悪臭 【臭気指数予測結果】

| 項目   | 予測方法    | 予測結果 | 最大着地濃度<br>出現距離(m) | 規制基準 | 適否 |
|------|---------|------|-------------------|------|----|
| 臭気指数 | 有効煙突高   | 10未満 | 550               | 15   | ○  |
|      | 有煙+DW   | 10未満 | 460               |      |    |
|      | 逆転層(有風) | 10未満 | 470               |      |    |
|      | 逆転層(無風) | 10未満 | 40                |      |    |
|      | 逆転層崩壊   | 10未満 | 111               |      |    |

- ※ 有効煙突高 : 排ガス上昇高考慮  
 有煙+DW : 排ガス上昇高とダウンウォッシュ考慮  
 逆転層 : 上層逆転層発生時  
 逆転層崩壊 : 逆転層崩壊時

## 1/22事前質問 Q & A(1/4)

Q1：生活環境影響調査報告書109ページの予測対象設備の騒音レベルについて、防音カバー設置予定の設備は防音カバー有のレベルか、それとも無しか？

A1：防音カバーを設置予定の設備における騒音レベルは、防音カバー有の値となります。

## 1/22事前質問 Q & A(2/4)

Q2：生活環境影響調査報告書111ページの予測式で「発生源の音圧レベルからパワーレベルへの変換」があるが、今回は機側1mでの騒音レベルのメーカー値を元に予測しているから使っていないのでは？

A2：予測式に関する記載情報が不足しておりました。

予測式は割愛しますが、

「発生源の音圧レベルからパワーレベルへの変換」は「室内騒音レベル」を算出する際に用いております。

なお、本予測は、株式会社環境総合研究所の騒音予測ソフト「工場・事業所業務ビル・建設機械騒音予測システム Super NOISE(P)」を用いて実施しております。

## 1/22事前質問 Q&A(3/4)

Q3：生活環境影響調査報告書111ページの予測は、全体としては騒音レベル（全周波数域での値）で計算しているようだが、回折計算に限っては、代表周波数として500Hzの回折減衰量を用いているように見受けられる。これは妥当か？

他の周波数で予測結果が大きくなるようなことはないか？低域の音響パワーが卓越している騒音源の場合、回折減衰量はより小さくなるため危険側となるのではないか。

詳細の予測は困難であり簡便化せざるを得ないのは分かっているので、最終的な予測値が安全側（予測結果が最大となるよう）になっているかを確認したい。

A3：Q 2で回答したとおりとなります。

また、代表周波数の500Hzは透過損失量の設定時に用いた数値となります。

## 1/22事前質問 Q & A(4/4)

Q4：騒音の予測について、回折は考慮して調査しているようだが、透過音についてはどのように考えているのか？資-38,39に使用建材の透過損失が載っているだけで、予測に反映されていないようだが？

A4：Q 2 で回答したとおりとなります。

回折減衰だけではなく、透過損失も予測結果に反映されております。

ご清聴ありがとうございました

アイテック株式会社



# 【騒音予測式】

発生源の音圧レベルからパワーレベルへの変換

$$L_{wi} = L_r - 10 \log_{10} \left( \frac{Q}{4\pi r^2} \right)$$

- $L_{wi}$  : 個々の機器のパワーレベル {dB(A)}  
 $L_r$  : 音源中心から受音点間  $r$  地点での音圧レベル {dB(A)}  
 $r$  : 音源から受音点までの距離 (m)  
 $Q$  : 指向係数 (自由空間 : 1、半自由空間 : 2、1/4 自由空間 : 4)

内壁面の室内騒音レベル

発生源から  $r_1$  (m) 離れた点の騒音レベルの求め方

$$L_{1in} = L_w + 10 \log_{10} \left( \frac{Q}{4\pi r_1^2} + \frac{4}{R} \right)$$

音源のパワーレベルの合成式

$$L_w = 10 \log \left( \sum_{i=1}^n 10^{L_{wi}/10} \right)$$

- $L_{1in}$  : 室内騒音レベル (dB)  
 $L_w$  : 各機器のパワーレベル (dB) (機側 1m 地点レベルより逆算)  
 $Q$  : 音源の方向係数 (床上もしくは床近くに音源がある場合  $Q=2$ )  
 $r_1$  : 音源から室内受音点までの距離 (m)  
 $R$  : 室定数 ( $m^2$ )  $R = \frac{S\alpha}{(1-\alpha)}$   
 $S$  : 室全表面積 ( $m^2$ )  
 $\alpha$  : 平均吸音率

## 2 室間の騒音レベル

2つの部屋が間仕切りによって隣接している場合のレベル差

$$L_{1out} = L_{1in} - TL - 10 \log \frac{S\alpha}{S_i}$$

$L_{1in}$  : 音源室内外壁側の騒音レベル (dB)

$L_{1out}$  : 音源室内音源側の騒音レベル (dB)

$TL$  : 間仕切りの透過損失 (dB)

$S_i$  : 間仕切りの表面積 ( $m^2$ )

## 外壁面における騒音レベル

求めた室内騒音レベル ( $L_1out$ ) を合成した後、建物外壁面における室内騒音レベル ( $L_2in$ ) 及び2室間の騒音レベル差から建物外壁面における室外騒音レベル ( $L_2out$ ) を求めました。

- $r_2 \leq \frac{a}{\pi}$  の場合 (面音源)

$$L_2in = L_1out = L_1in - TL - 6$$

- $\frac{a}{\pi} < r_2 \leq \frac{b}{\pi}$  の場合 (線音源)

$$L_2in = L_1out + 10 \log \frac{a}{r_2} - 5 = L_1in + 10 \log \frac{a}{r_2} - TL - 11$$

- $\frac{b}{\pi} < r_2$  の場合 (点音源)

$$L_2in = L_1out + 10 \log \frac{a \cdot b}{r_2^2} - 8 = L_1in + 10 \log \frac{a \cdot b}{r_2^2} - TL - 14$$

$L_2in$  : 受音室内外壁側の室内騒音レベル (dB)

$a, b$  : 壁面の寸法 (m) ( $a < b$ )

$r_2$  : 受音室内音源側壁から外壁側室内受音点までの距離 (m)

## 受音点における騒音レベル

外壁から $r$ (m)離れた敷地境界線における騒音レベル ( $L$ ) も「外壁面における騒音レベル」と同様の距離減衰式から求められます。

実際の予測地点における騒音レベル ( $L'$ ) は、外壁面を適当な数に分割し、それぞれを点音源で代表させた後、次式により様々な要因による減衰を考慮して、予測地点までの距離減衰値を求め、これを合成して算出しました。

$$L' = L_{2out} + 10 \log S' + 10 \log \frac{1}{2\pi l^2} - \Delta L$$

- $L'$  : 予測地点における騒音レベル (dB)  
 $L_{2out}$  : 室外騒音レベル (dB)  
 $S'$  : 分割壁の面積 (m<sup>2</sup>)  
 $l$  : 建物外壁から予測地点までの距離 (m)  
 $\Delta L$  : 様々な要因による減衰量

## 点音源（室外音源）の距離減衰式

$$LPA_i = LPA_i(r_0) - 20 \log_{10}(r_i/r_0) - \Delta L_d$$

$LPA_i$  :  $i$  番目の騒音源による予測地点における騒音レベル (dB)

$LPA_i(r_0)$  : 基準距離 1 m における騒音レベル (各発生源から発生する騒音レベル) (dB)

$r_i$  : 音源と受音点間の距離 (m)

$r_0$  : 基準距離 (1 m)

$\Delta L_d$  : 回折減衰量 (dB)

回折減衰量 ( $\Delta L_d$ ) は以下に示す計算式にて行いました。

$$\Delta L_d = 10 \log(N) + 13 \quad N \geq 1$$

$$\Delta L_d = 5 \pm \frac{8}{\sinh^{-1}(1)} \cdot \sinh^{-1}(|N|^{0.485}) \quad -0.3 \leq N < 1$$

$$\Delta L_d = 0 \quad N < -0.3$$

$N$ : フレネル数 ( $N = 2\sigma/\lambda$ ,  $\sigma$ : 行路差 (m)、 $\lambda$ : 波長 (m))

※ フレネル数  $N$  の符号は、予測地点から騒音源を見通せない場合は正、見通せる場合は負の値をとります。

※ 式中の  $\pm$  の符号の  $-$  は  $N < 0$ 、 $+$  は  $N > 0$  のときに用います。

## 横浜市廃棄物処理施設生活環境影響調査専門委員会運営要綱

制定 平成24年3月30日 資産第2914号(局長決裁)

最近改正 令和6年8月1日 資事第1391号(局長決裁)

## (趣旨)

第1条 この要綱は、横浜市廃棄物処理施設生活環境影響調査専門委員会（以下「委員会」という。）の運営に必要な基本事項を定める。

## (目的)

第2条 委員会は、市長が「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」（昭和46年厚生省令第35号。）第4条の3及び規則第12条の3に定める事項について、廃棄物処理施設に係る設置等に関する計画及び維持管理に関する計画が周辺地域の生活環境の保全について適正な配慮がなされたものであるか否かの科学的な判断をするための意見を聴取することを目的とする。

## (構成)

第3条 委員会の委員は10人以内とする。

2 委員は、前条に定める事項について専門的知識を有し、当該事項について科学的見地から判断できる者を選任するものとする。

## (対象となる廃棄物処理施設の種類)

第4条 専門的知識を有する者への意見聴取の対象となる廃棄物処理施設は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（昭和46年政令300号。以下令という。）第5条第1項に規定するごみ処理施設のうち焼却施設及び同条第2項に規定する一般廃棄物の最終処分場並びに令第7条第3号、第5号、第8号、第10号の2及び第11号の2から第14号に規定する産業廃棄物処理施設とする。

(会議)

第5条 委員会の会議は、資源循環局長が招集する。

(意見の聴取等)

第6条 委員会は、会議の運営上必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見または説明を聞くほか、資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、資源循環局事業系廃棄物対策課において処理する。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

この要綱は、令和6年8月1日から施行する。